

平成 24 年度

佐賀大学
入学者選抜要項



入学者選抜に関する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

佐賀大学学務部入試課

TEL 0952(28)8178

佐賀大学ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

入試関係ホームページ <http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

入試関係メールアドレス nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp

佐賀大学

目 次

| | | | |
|------|---|-------|----|
| I | 佐賀大学憲章 | | 1 |
| II | 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） | | 2 |
| III | 学部・学科・課程等及び募集人員等 | | 27 |
| IV | 出願資格 | | 28 |
| V | 選抜方法 | | 28 |
| | ○ 平成24年度佐賀大学入学者選抜方法等 | | 30 |
| | ○ 平成24年度大学入試センター試験の利用教科・科目等について | | 33 |
| | ○ 平成24年度佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等 | | 34 |
| | ・大学入試センター試験の「外国語」において、「英語」を選択した志願者に対する「リスニング」の取扱い | | 44 |
| | ・実技検査（一般入試）の内容 | | 45 |
| | ○ 平成24年度特別入試（推薦） | | 46 |
| | ○ 平成24年度特別入試（帰国子女） | | 61 |
| | ○ 平成24年度特別入試（社会人） | | 63 |
| | ○ 平成24年度特別入試（佐賀県推薦入学） | | 64 |
| | ○ 平成24年度特別入試（AO） | | 65 |
| VI | 私費外国人留学生入試 | | 67 |
| VII | 事前相談を要するみなさんへ | | 69 |
| VIII | 入学者選抜に関する細目の発表及び学生募集要項の請求方法 | | 70 |
| IX | 平成25年度以降の入学者選抜方法の変更〔予告〕 | | 74 |
| | ○ 平成25年度以降の医学部入学者選抜方法の変更について〔予告〕 | | 74 |
| | ○ 平成25年度以降の理工学部入学者選抜方法の変更について〔予告〕 | | 76 |
| X | 経済学部の改組予定について〔お知らせ〕 | | 77 |

| 選抜種別 | | 学部 | 出願期間 | 試験日 | 合格者発表日 | |
|------------|--|------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|----------------|--|
| 一般入試 | 前期日程 | 文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部 | 平成24年1月23日(月)～平成24年2月1日(水) | 平成24年2月25日(土) | 平成24年3月6日(火) | |
| | | 医学部 | | 平成24年2月25日(土) 平成24年2月26日(日) | | |
| | 後期日程 | 文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部 | | 平成24年3月12日(月) | 平成24年3月21日(水) | |
| | | 医学部 | | 平成24年3月12日(月) 平成24年3月13日(火) | | |
| 特別入試 | 推薦 | 文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部 | 平成23年11月1日(火)～平成23年11月4日(金) | 平成23年11月25日(金) | 平成23年12月12日(月) | |
| | | 医学部 | | 平成23年11月26日(土) | | |
| | 帰国子女 | 理工学部、農学部 | 平成23年11月1日(火)～平成23年11月4日(金) | 平成23年11月25日(金) | 平成23年12月12日(月) | |
| | | 医学部 | | 平成23年11月26日(土) | | |
| | 社会人 | 医学部 | 平成23年11月1日(火)～平成23年11月4日(金) | 平成23年11月26日(土) | 平成23年12月12日(月) | |
| 佐賀県推薦入学 | 医学部 (右記出願期間はあらかじめ行われる佐賀県の選抜を経た上での出願期間です。) | | 平成23年11月17日(木)～平成23年11月22日(火) | 平成23年11月26日(土) | 平成23年12月12日(月) | |
| | AO | 文化教育学部 学校教育課程 音楽選修 | 平成23年8月11日(木)～平成23年8月18日(木) | 平成23年9月28日(水) 平成23年9月29日(木) | 平成23年10月7日(金) | |
| | | 文化教育学部 人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修 | | 平成23年9月22日(木) | | |
| 私費外国人留学生入試 | | 文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部 | 平成24年1月4日(水)～平成24年1月11日(水) | 平成24年1月19日(木) | 平成24年1月27日(金) | |
| | | 医学部 | | 平成24年2月25日(土) 平成24年2月26日(日) | 平成24年3月6日(火) | |

I 佐賀大学憲章

平成18年3月15日 制定

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

魅力ある大学

目的をもって活き活きと学び行動する学生中心の大学づくりを進めます

創造と継承

自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めます

教育先導大学

高等教育の未来を展望し、社会の発展に尽くします

研究の推進

学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の研究を世界に発信します

社会貢献

教育と研究の両面から、地域や社会の諸問題の解決に取り組みます

国際貢献

アジアの知的拠点を目指し、国際社会に貢献します

検証と改善

不断の検証と改善に努め、佐賀の大学としての責務を果たします

II 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めていきます。

各学部の入学者受入れの方針

文化教育学部

学校教育課程

〈入学者受入れの方針〉

入学者選抜にあたっては公平性と多様性を理念とし、入学後の学習に必要な基礎学力、及び入学後に学習する専門分野に対する興味と学習意欲を持っているかをみるため、多様な方法による入試を実施し、多彩な人材を求めます。

【1. 求める学生像】

小学校の全教科に関する学習と、専門分野（教育学、教育心理学、障害児教育、教科教育、理科、数学、音楽のいずれか）の学習に興味と意欲を持つ学生を求める。

幅広い基礎的学力や技能を備え、学校教育の諸問題や各教科の教育について熱意を持って学ぶことにより、小学校の教員、さらには中学校・高等学校などの教員を目指す学生を求める（なお、卒業にあたっては小学校教員一種免許状取得の要件を完全に満たす必要があります）。

【2. 入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、①一般入試（前期日程、後期日程）、②特別入試（推薦入試（教科教育選修）およびAO入試（音楽選修））、③私費外国人留学生入試、による選抜を行います。
2. 一般入試では、大学入試センター試験のほか、個別学力検査（前期日程）もしくは小論文・面接・実技検査のいずれか（後期日程）を課します。特別入試では小論文、面接、及び実技検査を課します。私費外国人留学生入試では日本語（作文）・実技検査のいずれかと面接を課し、日本留学試験及びTOEFLの成績と合わせて入学者を選抜します。
3. 大学入試センター試験では、高等学校で履修した教科・科目に関する教科書レベルの基礎的な知識を有しているかを評価します。個別学力検査では、国語、数学、英語のいずれかについて幅広く基礎的な知識を有しているかを評価します。小論文では、幅広い視野と柔軟な思考力を合わせ持ち、自分の考えを日本語で他者からも分かり易く文章表現ができるかを評価します。面接では、相手の意見を理解し自分の考えを相手に正しく伝えることができるかどうかを評価します。実技検査では、当該分野における基礎的な技量が身についているかどうかを評価します。

【3. 高等学校段階で修得すべき内容・水準】

高等学校で履修するすべての教科・科目について、基礎的な知識を偏りなく身につけており、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できることが必要です。実技検査を実施している選修においては、当該分野における基礎的な技量を修得しておくことを求めます。

国際文化課程

〈入学者受入れの方針〉

国際的な広い視野を持った、自立し社会に貢献できる人材を確保・育成するために入学者選抜を行います。

【1. 求める学生像】

国際文化課程の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求める。

1. 国際的な広い視野からものごとを考え、学び、それを将来自分や社会のため活かそうという志を持つ人
2. 外国語を含む言語運用能力およびそれを活用したコミュニケーション能力の修得に意欲を持つ人
3. 日本やアジア、欧米の言語・文化・歴史・社会等について学び、海外の大学への留学、公務員・旅客業・情報通信業・金融保険業など国際的な視野を必要とする業種への就職、中学校・高等学校の国語科・社会科・英語科の教員を志望する人

【2. 入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った意欲と能力を備えた人材を得るために、複数の選抜方法を実施します。
①一般入試（前期日程・後期日程）、②推薦入試、③私費外国人留学生入試、④3年次編入学試験による選抜を行います。
2. 本課程の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。
①大学入試センター試験に加えて、一般入試（前期日程）では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行い、一般入試（後期日程）では、文化や社会への理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。
②推薦入試では、学業成績や修学状況、思考力・表現力、勉学意欲、国際社会への問題意識等を総合的に評価するために、書類審査による第一次選考と、面接及び小論文による第二次選考を行います。
③私費外国人留学生入試では、入学後の学習に必要な日本語能力を問い合わせ、意欲や適性について判断するために、日本留学試験及びTOEFLの成績に加えて、面接及び日本語試験（作文）を行います。
④3年次編入学試験は、入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために、書類審査と小論文試験および外国語試験（英語）を行います。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

国際文化課程における4年一貫の教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修するすべての教科・科目を広く学んでおくことが重要です。特に、国語、英語の基礎的な学力と応用力のある幅広い知識を有していることが求められます。

人間環境課程【生活・環境・技術選修】

〈入学者受入れの方針〉

地域、生活、文化あるいは環境という多様な視点をもって、将来の日本と地域社会の発展に貢献することができる人材を確保・育成するため、公平性・多様性および価値尺度の多面性を旨とした多様な選抜方式によって入学後の教育に必要な学力と意欲とを多面的に判断し、入学者選抜を行います。

【1. 求める学生像】

教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

1. 幅広い教養と基礎学力を有し、自然環境、地域社会、人間の文化に強い関心を持っている人
2. 「1」に示す領域に関する高度な知識と先見性、実践力を身につけていく意欲のある人

【2. 入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った意欲と能力を備えた人材を得るために、複数の選抜方法を実施します。
 - ①一般入試（前期日程・後期日程）、②推薦入試、③私費外国人留学生入試、④3年次編入学試験による選抜を行います。
2. 本選修の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。
 - ①一般入試（前期日程、後期日程）

大学入試センター試験に加えて、一般入試（前期日程）では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行います。一般入試（後期日程）では、理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。
 - ②推薦入試

学業成績や修学状況、思考力・表現力、勉学意欲、社会と環境問題への意識等を総合的に評価するため、書類審査による第一次選考と、面接及び小論文による第二次選考を行います。
 - ③3年次編入学試験

入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために、推薦では小論文及び面接、一般では外国語・小論文及び面接を行います。
 - ④私費外国人留学生入試

入学後の学習に必要な日本語能力を問い合わせ、意欲や適性について判断するため、面接及び日本語（作文）を課します。
3. 日本国籍を有しない者で、国外において学校教育による12年間の課程を修了し、日本留学試験及びTOEFLを受験済みの者を入学要件とします。

【3. 高等学校段階で修得すべき内容・水準】

本選修における4年一貫の教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修したすべての教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有していることが重要です。

人間環境課程【健康福祉・スポーツ選修】

〈入学者受入れの方針〉

入学者選抜にあたっては、入学後の学習に必要な基礎学力、及び入学後に学習する専門分野に対する興味と学習意欲を持っているかを見るため、多様な方法による入試を実施し、多彩な人材を求めます。

【1. 求める学生像】

現代社会の具体的な諸問題に取り組むことのできる教養・基礎学力を持ち、体育・スポーツ指導能力を磨く学生や、健康福祉専門職を目指す学生、またそのためのスポーツ実習や健康福祉の実践実習に意欲を持つ学生を求めます。

【2. 入学者選抜の基本方針】

求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、①一般入試（前期日程、後期日程）、②推薦入試、③AO入試、④私費外国人留学生入試、⑤3年次編入学試験による選抜を行います。

①一般入試

大学入試センター試験に加えて、一般入試（前期日程）では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているかを問うための個別学力検査を行い、一般入試（後期日程）では、健康、福祉、スポーツへの理解力・論理的思考・表現力を問うための小論文試験を行います。

②推薦入試

スポーツ分野に関する実績及び幅広い視野と柔軟な思考力を合わせ持ち、スポーツ分野に関する基礎的な知識を有して、その基礎的な技量を問うために、書類審査による第一次選考と、小論文、面接、実技による第二次選考を行います。

③AO入試

高い学業成績と自己表現力並びに、スポーツに関する基礎的な知識を有して、自分の考えを相手に正しく伝える力を問うために、書類審査による第一次選考と、面接による第二次選考を行います。

④私費外国人留学生入試では、入学後の学習に必要な日本語能力を問い合わせ、意欲や適性について判断するために、日本留学試験及びTOEFLの成績に加えて、面接及び日本語試験（作文）を行います。

⑤3年次編入学試験は、入学後専門分野の研究に取り組むのに必要な能力を問うために、外国語および面接を行います。

【3. 高等学校段階で修得すべき内容・水準】

高等学校で履修するすべての教科・科目について、基礎的な知識を偏りなく身につけており、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できること、また、健康福祉・スポーツ分野に関する基礎的な知識や技量を修得しておくことが必要です。

美術・工芸課程

〈入学者受入れの方針〉

教育目標を達成するために、公平性・客観性・開放性を旨とした多様な選抜方式によって入学後の教育に必要な学力と意欲とを多面的に判断し、以下の方針の下に入学者を受け入れます。

【1. 求める学生像】

美術・工芸課程の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求めます。

日本画、西洋画、彫刻、デザイン、窯芸、木工工芸、染織工芸、金工工芸、美術理論・美術史及び美術教育の各分野に興味と意欲をもっている者。また、基礎的学力や技能を備え、制作・学習に意欲的に取り組み、表現や理論的な思考などの能力を自ら育てようとする熱意を持って学び、優れた教育者や専門家、企業人などをを目指す者。

【2. 入学者選抜の基本方針】

選抜趣旨

高校までに修得すべき知識および美術・工芸の技能を保持し、なおかつ美的感性にすぐれ、意欲があると判断される者を選抜します。

一般入試

入学要件は、出願資格を満たし、大学入試センター試験を受験したうえで、前期日程・後期日程の個別学力検査（実技検査）を出願・受験して合格した者。選抜は、美術・工芸課程が定めた配点により、大学入試センター試験と個別試験を総合的に評価して実施します。大学入試センター試験では、高校までに修得すべき知識や応用力を選抜の基準とします。また個別学力検査（実技検査）では、技能、独創性、将来性、意欲を選抜の基準とします。

推薦入試

入学要件は、出願資格を満たし、高等学校長から責任をもって推薦され、合格した場合は確実に入学できる者。選抜は、書類（調査書および推薦書）による第1次選考を経て、面接および実技検査による第2次選考により行う。評価は、学業成績や修学状況、技能、意欲・将来性、美術・工芸分野における実績、当該分野の成績等をみて総合的に実施します。

私費外国人留学生入試

入学要件は、日本国籍を有しない者で、国外において学校教育による12年の課程を修了し、日本留学試験及びTOEFLを受験済みの者。選抜は、面接及び実技検査による。評価は、日本留学試験及びTOEFLの成績と、面接及び実技検査の成績から総合的に実施します。面接及び実技検査では、知識、技能、独創性、将来性、意欲、応用力、美術・工芸分野における実績を選抜の基準とします。

3年次編入学試験（一般）

入学要件は、出願資格を満たした者で、面接および実技試験の結果に優れた者。面接では、学業成績とともに、美術・工芸についての実績や意欲を、また実技検査では、技能、独創性、将来性、意欲、応用力を選抜の基準とします。

【3. 高等学校で修得すべき内容・水準】

一般入試（センター試験／実技）

高等学校で履修したすべての教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有していること。

美術について基礎的な技量を有していること。

推薦入試（書類審査／面接・実技）

美術・工芸分野に優れた実績を有していること。美術・工芸に関する基礎的な知識を有して、相手の意見を理解し、自分の考えを相手に正しく伝えることができること。美術・工芸について基礎的な技量を有していること。

経済学部

〈入学者受入れの方針〉

教育方針を実施するため、以下のような方針に基づき入学者を選抜します。

【1. 求める学生像】

経済学部では以下のような考え方や目的をもった学生を求めています。

1. 社会や経済における課題を発見し解決する能力を身につけ、企業や自治体などの活動を通じて社会に貢献したいと考える人
2. 高度な専門知識を身に付け、経済・経営・法律の分野で専門職業人となることを目指す人
3. 社会の変化に対応するために生涯にわたって学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学習能力を大学で得たいと考えている人

【2. 入学者選抜の基本方針】

一般入試

前期日程と後期日程のいずれにおいても大学入試センター試験を課しています。このことによって、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学習に必要な基礎学力をもっているかを判断します。また個別学力検査は、前期日程では英語、後期日程では小論文の試験をおこない、社会科学の専門知識を得るための語学力や読み書きの能力をもっているかをみます。

推薦入試

普通科系の生徒を対象にした入試と商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象とした入試があります。1次選考では、調査書によって高等学校での学習の達成度をみます。2次選考では、小論文で社会科学を学ぶための読解力や論理的な文章を作成する能力をはかり、口頭試問によって学ぶ意欲などをみます。

商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象にした入試では簿記検定などの検定合格や資格取得といった経済学の勉学に関連した学習実績も評価します。

私費外国人留学生入試

日本語試験と日本語による口頭試問を行い、「日本留学試験」の結果とあわせて、専門知識が習得できる学力と日本語能力をもっているかを判断する入試をおこないます。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

経済システム課程と経営・法律課程に共通して以下のことを求めます。

①知識と理解

1. 社会で生起している問題を理解するためには幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって、高等学校の主要教科科目の教科書レベルの知識を習得していることが大切です。
2. 大学での勉学を有意義なものとするには、事実や意見などの情報を読み解き、考えをまとめる国語と英語の学力を身につけておくことが大切です。
3. 専門高等学校から進学する方には、普通科目の勉学だけでなく商業科目の基本的な知識と技能を確実に習得しておくことが大切です。

②意欲と関心

社会で生起している問題に関心をもち、自らの興味の所在や考え方をまとめようとする姿勢をもつことが大切です。

医 学 部

医 学 科

〈入学者受入れの方針〉

医学部の基本理念に基づき、医学科の教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材育成を行うために、以下に求める学生像、入学選抜の基本方針を示します。

【1. 求める学生像】

本医学科の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために、次のような学生を求める。

1. 医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献したいと考える人
2. 他者への思いやりを持ち、コミュニケーションを取ることができる人
3. 学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
4. 医学を学ぶために必要な基礎的学力・能力を備えている人
5. 生涯を通して、医学・医療について勉学する意欲のある人

【2. 入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、多様な選抜方法を実施します。
①一般入試（前期日程、後期日程）、②推薦入試、③佐賀県推薦入学特別入試、④帰国子女特別入試、⑤私費外国人留学生入試による選抜を行っています。
2. 医学を学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。
①一般入試（前期日程）及び⑤私費外国人留学生入試では、本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、また、卒業後医療に従事する際に必要な問題解決、論理的思考、表現の各能力を在学中に修得する力を有しているか、を問うための総合問題試験、②推薦入試、③佐賀県推薦入学特別入試及び④帰国子女特別入試では、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる学力・能力を問うための総合問題による筆記試験を行っています。
3. 医学を学ぶ意欲や医療職者になるための適性を問う試験を行います。
すべての選抜試験において、医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかを判断するための面接試験を行っています。
4. 学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。
選抜試験の種類により、大学入試センター試験、総合問題試験、面接試験、調査書、高等学校長の推薦書、自己推薦書など選抜方法の組み合わせは異なりますが、これらを総合的に評価して最終

的な合格者を決定しています。また、全ての選抜試験に面接試験を課しており、特に、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

①一般入試(前期日程、後期日程)

前期日程は、大学入試センター試験、総合問題試験、面接試験及び調査書、後期日程は、大学入試センター試験、面接試験、自己推薦書及び調査書を総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。

②推薦入試

二段階選考により合格者を決定します。高等学校長の推薦書、調査書及び自己推薦書による書類選考により第一次選考の合格者を決定し、第二次選考は、第一次選考合格者に対して、総合問題試験を課し、面接を行い、第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

③佐賀県推薦入学特別入試

佐賀県による第一次選考及び本学部による第二次選考により合格者を決定します。第二次選考は、第一次選考に合格し佐賀県から推薦を受けた者に対し、総合問題試験を課し、面接を行い、佐賀県からの推薦理由等を総合的に判断して、最終的な合格者を決定します。

④帰国子女特別入試

二段階選考により合格者を決定します。書類選考による第一次選考を行い、第一次選考の合格者に対して、総合問題試験を課し、面接を行い、第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

⑤私費外国人留学生入試

二段階選考により合格者を決定します。「日本留学試験」の成績、TOEFLの成績及び出願者の提出書類による書類審査で第一次選考を行い、第一次選考の合格者を決定します。第二次選考は、第一次選考合格者に対し、総合問題試験を課し、面接を行い、第一次選考結果を総合して最終的な合格者を決定します。

【3. 高等学校段階で修得すべき内容・水準】

医学科における「6年間にわたる医学教育（カリキュラム）」を確実に身に付けていくためには、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく修得しておくことが大切です。特に理科系については、生物、物理、化学の基本的な知識と理解を有していることが望まれます。

看護学科

〈入学者受入れの方針〉

医学部の基本理念に基づき、看護学科の教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材育成を行うために、以下に求める学生像、入学選抜の基本方針を示します。

【1. 求める学生像】

看護学科では次のような人を求めています。

1. 人間に关心を持ち、人々の健康と福祉に貢献したいと願う人
2. 豊かな感性と表現力を身につけている人
3. 相手の立場に立って、柔軟に物事を考えられる人
4. 看護職に夢を持ち、理想とする看護職者を目指そうとする人
5. 幅広い基礎学力と論理的な思考力を備えている人
6. 生涯を通して、看護学や医療について勉学する意欲のある人

【2. 入学者選抜の基本方針】

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として、次の基本方針に基づき選抜を行います。

1. 求める学生像に沿った多彩な人材を得るために、多様な選抜方法を実施します。

①一般入試（前期日程、後期日程）、②推薦入試、③社会人特別入試、④3年次編入学入試による選抜を行っています。

2. 本看護学科の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。

①一般入試では、提示された課題について、論理的な思考力や適切な表現力により的確に記述する力を有しているか、を問うための小論文、②推薦入試では、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性および種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる学力・能力を問うための総合問題試験、③社会人特別入試および④3年次編入学入試では、英語、看護専門基礎分野および看護専門分野の基礎的知識に加え、思考力、判断力等を問うための総合問題による筆記試験を行っています。

3. 看護学を学ぶ意欲や医療職者になるための適性を問う試験を行います。

すべての選抜試験において、看護学科志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているか、を判断するための面接試験を行っています。

4. 学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。

選抜試験の種類により、大学入試センター試験、総合問題試験、面接試験、調査書、高等学校長の推薦書、自己推薦書など選抜方法の組み合わせは異なりますが、これらを総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。また、全ての選抜試験に面接試験を課しており、特に、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

①一般入試(前期日程, 後期日程)

前期日程は, 大学入試センター試験, 小論文試験, 面接試験及び調査書, 後期日程は, 大学入試センター試験, 面接試験, 自己推薦書及び調査書を総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。

②推薦入試

二段階選考により合格者を決定します。高等学校長の推薦書, 調査書及び自己推薦書による書類選考により第一次選考の合格者を決定し, 第二次選考は, 第一次選考合格者に対して, 総合問題試験を課し, 面接を行い, 第一次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

③社会人特別入試

総合問題試験を課し, 面接を行い, その結果を総合して入学者を決定します。

④3年次編入学試験

総合問題試験を課し, 面接を行い, その結果を総合して入学者を決定します。

【3. 高等学校段階で修得すべき内容・水準】

看護学科における「4年間にわたる看護学教育」を確実に身に付けていくためには, 高等学校で履修すべき科目を偏ることなく修得しておくことが大切です。特に理科系については, 生物, 物理, 化学の基本的な知識を理解していることが望されます。

理 工 学 部

〈入学者受入れの方針〉

【1. 入学者選抜の基本方針】

教育目標を達成するために、以下の方針のもとに、客観性、公平性、開放性を旨とした多様な入試方法により、入学後の教育に必要な学力と意欲を多面的に判定し、入学者を受入れます。

【2. 基本理念および教育目的・目標・方針】

理工学部は、理学系の数理科学科、物理科学科、工学系の機械システム工学科、電気電子工学科、都市工学科および理学と工学が融合した知能情報システム学科、機能物質化学科の7学科より構成されており、基礎に強い技術者、応用に強い科学者を育て、社会に送り出しています。

近年、科学技術の進歩は急速で、産業界のみならず人々の生活にも大きな影響を与えています。科学技術の恩恵を受け、私たちの暮らしは便利で豊かになってきていますが、一方では、地球環境問題など様々な弊害も現れています。そのため、これから科学・技術者は、地球規模の視野に立った社会的責任を自覚し、科学技術の進展に貢献する責任があります。こうした社会的要請に応えるため、本学部では、理学と工学の学問体系を基盤として、各専門分野にわたる広い知識を修得させ、かつ個々人の得意分野の能力向上をはかり、個性豊かな人材を育てることを目標としています。即ち、地球規模で活躍できる基礎的知識と技能を持ち、多面的な考察により諸課題を見いだし、知識を応用して発見した課題を解決する能力を修得することを目指します。さらに、自己と社会のたゆまぬ成長発展を担うための人間力を修得させ、また同時に世界を舞台に専門職や研究職として活躍することを目的として、日本語や外国語による的確な意思疎通能力、さらには情報リテラシーや論理的な思考・判断力などの育成にも力を入れています。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

受験生の諸君が高等学校における学習によって身につけた知識や技能を前提に大学の授業が設計されています。したがって、大学において諸君が期待している理工学に関する最新の知識や技術を学ぶためには、高等学校における幅広い教科の内容を十分に理解しておく必要があり、入学時には選抜方式によらず所定の習得水準でスタートすることが望されます。そこで、各学科が要求する高等学校段階で習得すべき内容・水準を以下に示します。

数理科学科

【1. 求める学生像】

言葉は人類の獲得した知的財産の根源であり、数学および数理科学はあらゆる科学技術の言葉（基礎）となっています。数学的なものの考え方は、古くより文化の発展と人類の繁栄を支えてきました。科学技術の進歩は、数学なくしては考えられません。数理科学科では、豊かな創造性に富んだ現代数学の概念や方法の基礎を修得させ、数学の先端研究を目指す者や教育者、培った数学の力を基盤として活躍できる技術者など、社会を多様に支える知的素養のある人材を養成しています。そのため、本学科では、主として、数学が好きで、あるいは自然科学、情報科学、社会科学の数理的側面に旺盛な好奇心をいたいて、次に示すような目的意識と向学心および基礎学力を持っている学生を求めています。

1. 数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
2. 数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人

【2. 入学者選抜の基本方針】

数理科学科では入学者選抜に際して、客觀性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と数学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試(前期日程、後期日程)

数理科学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力を有しているか、さらに卒業後に期待されているグローバルな活躍に必要な知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎的能力を有しているかを審査します。前期日程においては、数理科学科の科目を履修するのに必要となる数学と理科に重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試(帰国子女)、私費外国人留学生入試

数学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受け入れます。学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

3. 3年次編入学試験(一般、推薦)

さらに高度な数学の専門教育・研究を強く希望する他研究機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学の意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

数理科学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、数学については高等学校で履修した範囲において応用的な能力を有していることを求めます。

物理科学科

【1. 求める学生像】

物理学は、物質、相互作用、時間空間などの全ての自然現象を単純で美しい物理法則によって矛盾なく記述し、その理解を目指す、夢とロマンに満ちた学問です。物理学の研究では、論理的考察と実験的検証を繰り返し、真理を探求します。物理科学科では、専門的な物理学の基礎となる知識やその運用能力を修得するとともに、科学をよく理解し、柔軟な発想や思考で課題に向かう姿勢を身につけてもらうことを目指しております。多岐にわたる物理学の専門科目と幅広い基礎知識や文化的な素養を培うための教養教育科目を設けています。物理科学科の卒業生は、物理学の研究者のみならず、企業、官庁、教員など、幅広い分野で活躍し、高い評価を受けています。

専門的な物理学の修得には、高等学校で基礎学力をしっかりと身につけることが必要です。特に理数系科目の学力に優れ、自然科学に対して強い興味をもつ諸君の入学を期待しています。

【2. 入学者選抜の基本方針】

物理科学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と物理分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試(前期日程、後期日程)

物理科学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力および卒業後に物理分野で活躍するのに必要な知識や技能、課題発見・解決能力を在学中に修得できる基礎能力を審査します。前期日程においては、物理学履修上の中核となる数学と物理に重点を置いた個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試(帰国子女)、私費外国人留学生入試

物理学分野で卒業生が国際的な活躍をすることを期待して、基礎学力と勉学意欲を有した帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文(帰国子女のみ)、面接および提出資料内容で総合的に判断します。

3. 3年次編入学試験(一般、推薦)

さらに高度な物理の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学に適応した学力、専門知識および勉学意欲を学力試験または小論文(推薦のみ)、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

物理科学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、物理学分野の中核的科目である物理と数学については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに標準的な問題を解くことができるようになります。

知能情報システム学科

【1. 求める学生像】

知能情報システム学科では、IT（情報技術）に関する理論、コンピュータを中心とした情報システムの設計・開発・活用に関する技術を系統的に教育し、情報社会の発展に中心となって貢献できる情報技術者、教育者、研究者を育成しています。

本学科の卒業生が、情報通信分野を始めとする広範な業種で、専門知識を活用しながら、先進的能力を発揮する責任ある情報技術者として活躍するため、以下の教育課程を実施しています。幅広い文化、自然、社会の教養を修得させ、文書作成、口頭発表などのコミュニケーション能力を育成します。国際社会に活躍するために語学教育を行います。ITの理論を深く理解するため数学、自然科学などの専門基礎を重視します。各種実験科目や卒業研究を通して、グループの中での協調性を身に付けさせるとともに、自主的な学習能力、情報収集能力、問題発見・解決能力を養成します。

このような背景から、本学科では教育課程を通して育成する人材の前提として、全般的な基礎学力を備えた学生を求めます。基礎学力の中では特に数学、理科の学力を重視します。また、ITに対する興味を持ち、ITの基礎知識がある学生、ソフトウェア開発や情報システムの構築に取り組む意欲のある学生の入学を望みます。

【2. 入学者選抜の基本方針】

知能情報システム学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力とIT関連分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試(前期日程、後期日程)

知能情報システム学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力および卒業後に情報分野で活躍するのに必要な知識や能力を在学中に修得できる基礎能力を審査します。前期日程においては、知能情報システム学履修上の中核となる数学と理科を重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試（推薦）

高等学校の情報系の科および総合学科の学生を対象に、知能情報システム学に関する基礎知識および勉学意欲や熱意を小論文や面接等によって総合的に審査します。

3. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

知能情報システム学分野で卒業生が国際的な活躍をすることを期待して、基礎学力と勉学意欲を有した帰国子女や外国人留学生を積極的に受け入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4. 3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な知能情報システム学の専門教育を希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学に適応した学力、専門知識および勉学意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

知能情報システム学科で受ける科目を理解するための基礎学力として、高等学校で履修したすべての教科・科目について、教科書レベルの問題を解くことができる能力を求める。

機能物質化学科

【1. 求める学生像】

化学は、物質を探求し、新しい反応や物性を見出し、新素材や先端材料の創製を通して、社会の発展に貢献しようとする学問分野です。理学と工学の融合した機能物質化学科では、基礎化学から応用化学までの幅広い知識と実践力を修得するとともに、ファインセラミックスや機能性高分子材料などの新素材、エレクトロニクスやバイオなどの先端材料、資源のリサイクルや環境の浄化など"地球に優しい"物質や環境関連技術の開発などの最先端研究に係わることで、自主的な課題発見・解決能力を身につけ、化学を通して社会に貢献できる人材・自立した化学技術者として社会に貢献する人材を育成しています。

したがって、日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかを興味を持って調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに意欲を持つ学生を求めていきます。化学はもちろん生物・物理・数学など理数系科目が得意で、国語・社会・英語などの基礎学力を身に付けた学生を待っています。

【2. 入学者選抜の基本方針】

機能物質化学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と化学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試(前期日程、後期日程)

機能物質化学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、さらに卒業後グローバルに活躍するのに必要となる知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを評価します。前期日程においては、化学専門科目の履修上重要な数学と理科(化学または物理)に重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難な特徴的な資質・能力、化学分野への勉学意欲や熱意に重点化して、小論文や面接等によって総合的に評価します。

3. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

化学分野でグローバルな活躍を目指す人材教育の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受け入れます。学力と勉学意欲を小論文(帰国子女のみ)、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4. 3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な化学の専門教育を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学に

ふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に評価します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

機能物質化学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学専門科目の履修において理解を助けるために、数学と理科(化学・物理)については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに標準的な問題が解けることを求めます。

機 械 シ ス テ ム 工 学 科

【1. 求める学生像】

航空機、船舶、鉄道、自動車のような輸送機械から発電プラントや各種の動力機械、工作機械やロボットなどの産業用機械、ロケットや人工衛星などの宇宙機器、さらには家電製品や情報・通信機器に至るまで、機械技術がかかわる分野は大変広範です。これから機械技術は利便性や効率化の追求だけでなく、人間との協調や安全性、地球環境との調和、資源・エネルギー問題などがさらに重要となります。

機械システム工学科のカリキュラムは、入学者および編入学者の全員を対象としたJABEE（日本技術者教育認定機構）に認定された技術者教育プログラムであり、将来幅広い分野で国際的に活躍できる人材育成を目指して学習・教育目標が定められています。本学科では理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち、「もの創り」に興味のある人を求めます。

【2. 入学者選抜の基本方針】

機械システム工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と機械系分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

1. 一般入試(前期日程、後期日程)

機械システム工学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎学力が備わっているか、さらに卒業後に期待されているグローバルな活躍に必要な知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを審査します。前期日程においては、機械工学の専門科目を履修するのに必要となる数学と物理の個別試験を課し、後期日程では大学入試センター試験の結果により数学・理科・外国語に重点をおいた幅広い知識の総合力を判断します。

2. 特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難な特徴的な資質・能力、機械工学分野への勉学意欲や熱意に重点化して、小論文と面接によって総合的に審査します。

3. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

機械工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受け入れます。特別入試（帰国子女）では、小論文と面接により機械工学分野へ

の学習意欲や熱意について総合的に判断し、私費外国人留学生入試では、日本留学試験・TOEFLの成績および面接により入学後の学習に必要となる日本語能力と基礎学力を審査します。

4. 3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な機械工学分野の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい基礎学力・能力および勉学への意欲を問います。一般入試と外国人留学生特別入試では、数学と専門科目の試験により基礎学力を審査し、推薦入試では、小論文と面接により機械工学分野への勉学意欲や熱意に重点をおいて審査します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識を有し、機械システム工学科への入学後の専門科目の履修において理解を助けるため、数学および物理については概念や定義を十分理解した上で標準的な問題を解くことができることを求めます。

電 気 電 子 工 学 科

【1. 求める学生像】

電気電子工学科では、現代社会の基盤であるエレクトロニクス産業、近年、社会的ニーズが益々高くなっている情報通信関連分野、業種を問わない広範な産業界、さらには各種社会インフラ業界などからの旺盛な人材ニーズに対して、毎年、多くの卒業生を送り出しています。そのために、国際社会や様々なビジネス分野でも通用する幅広い基礎知識と文化的素養そして言語・情報・リテラシー能力を修得することを目的として、多様な教育を行っています。さらに、科学技術創造立国を担う創造的人材の育成を目指して、各種の学生実験や演習さらには卒業研究を通じて自律的な実践力、課題発見・解決能力を養成するとともに、他者との協調性なども養成しています。

したがって、高校時代においては数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけるとともに、エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」への関心を持ち、あるいは世界的視野に立ったエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲ある皆様の入学を期待しています。

【2. 入学者選抜の基本方針】

電気電子工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と電気電子系分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、以下の入試方法によって多面的な観点から多様な人材を積極的に受け入れています。

1. 一般入試(前期日程、後期日程)

電気電子工学科で学ぶ専門科目を理解できる基礎的学力が備わっているか、さらにグローバルな活躍に必要な知識や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得する基礎能力を有しているかを審査します。前期日程においては、電気電子工学履修上の中核となる数学と物理に重点化した個別試験を実施し、後期日程では大学入試センター試験の結果により幅広い知識の総合力を問います。

2. 特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力、電気電子工学分野への勉学意欲や熱意に重点化して、小論文や面接等によって総合的に審査します。

3. 特別入試（帰国子女）、私費外国人留学生入試

電気電子工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4. 3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

さらに高度な電気電子工学の専門教育・研究を強く希望する他教育機関からの学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

電気電子工学科へ入学後の科目履修において支障が生じないためには、高等学校で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に電気電子工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができる求めます。

都 市 工 学 科

【1. 求める学生像】

都市には、交通や水、エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤、施設の整備と安全確保が必要とされますが、同時に自然環境や歴史との調和も求められます。デザイン性も強く要求される時代となっています。形態や空間を扱うデザインでは、美的な感性に加えて、人々の思い入れや自然観についても感じることのできる素養が必要です。市民から専門家まで多くの人達とのコミュニケーション能力も大切になります。

都市工学科は「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コース制により、人々が安全安心かつ快適に生活することに貢献できる高度な専門的能力を身につけた多様な人材を育成します。教育方針の特徴は、専門科目のほとんどが選択科目であることです。選択責任が求められますので、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志を持つ学生の入学を望みます。

【2. 入学者選抜の基本方針】

都市工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と都市工学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

1. 一般入試(前期日程、後期日程)

都市工学科で学ぶ専門科目を理解できる幅広い基礎的な学力と知識を有しているか、そして卒業後

あるいは大学院進学後に求められる素養や技能、課題発見・解決能力などを在学中に修得できる能力を有しているかを審査します。

前期日程においては、大学入試センター試験の他、都市工学の「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」のいずれにおいても基礎となる数学と物理に重点化した個別試験を実施し、後期日程では主として大学入試センター試験の結果から幅広い知識の総合力と理工学に関連する基礎学力を問います。

2. 特別入試（推薦）

一般入試の筆記試験のみでは評価・確認が困難な特徴的な資質・能力、具体的には都市環境基盤や建築・都市デザインで代表される都市工学分野への勉学意欲や熱意、さらには適性にも配慮して、高校等での学習・活動履歴、小論文、面接によって総合的に審査します。

3. 特別入試（帰国子女、私費外国人留学生）

都市工学分野でグローバルな活躍を目指す教育の活性化の一環として、国際性豊かな帰国子女や外国人留学生を積極的に受け入れます。学力と勉学意欲を小論文（帰国子女のみ）、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

4. 3年次編入学試験（一般、推薦、外国人留学生）

高等専門学校、大学等の教育機関から継続的に高度な都市工学の専門教育・研究を強く希望する学生を対象として、3年次編入学にふさわしい学力・能力および勉学への意欲を学力試験または口述試験、面接および提出資料内容で総合的に判定します。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

数学・理科（物理、化学）・外国語（英語）の教科について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、都市工学の基礎専門科目（数学、力学など）を理解できることを求める。

国語・社会の教科について、基本的な知識を有していること。都市工学分野における問題に関心を持ち、これら問題を多面的に分析し、自分の考えをまとめ、意見交換ができるることを求める。

農 学 部

〈入学者受入れの方針〉

今、私たちが生きる21世紀は、大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会への転換が求められています。このような時代背景のなか、日本有数の食料生産基地である佐賀平野に立地する佐賀大学農学部は、農学という学問が、理系から文系にわたり、基礎から応用に及ぶ総合科学であることを踏まえ、「食料」、「生命」、「環境」、「情報」、「エネルギー」、「地域社会」をキーワードとした多様で重要な課題を解決していくことをしています。そのために、創造性豊かな専門職業人を育て、国内はもとより、アジアをはじめとする世界に貢献します。これらのことから、農学部は、個性とバイタリティーにあふれ、基礎学力を有する人を歓迎します。

【1. 求める学生像】

応 用 生 物 科 学 科

1. 多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
2. 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人
3. 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

生 物 環 境 科 学 科

1. 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
2. 永続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲がある人
3. 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

生 命 機 能 科 学 科

1. 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
2. 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人

【2. 入学者選抜の基本方針】

農学部が求める学生像にふさわしい学生を選抜するために、一般入試、推薦入試、帰国子女特別入試、私費外国人留学生入試及び3年次編入学試験の多様な入学試験を実施します。

[一般入試]

高等学校等での学習の達成度を評価するために、大学入試センター試験及び個別試験を課します。大学入試センター試験では、5教科7科目を課し、数学及び理科の学力を重視します。個別学力検査では、前期日程で数学及び英語、後期日程で数学の学力試験を課し、入学後に必要な基礎学力を測ります。

[推薦入試]

第一次選考及び第二次選考により、合格者を決定します。第一次選考では、書類審査（調査書、推薦書、作文等）を行い、高校における学習状況等を評価します。第一次選考の合格者について第二次選考を行います。第二次選考では、小論文を課し、論理的思考力、表現力及び記述力を評価し、面接（口頭試問を含む）により、入学後に必要な基礎学力と勉学意欲を測ります。

[帰国子女特別入試]

第一次選考及び第二次選考により、合格者を決定します。第一次選考では、書類審査（成績証明書等）により、これまでの学習状況等を評価します。第二次選考では、第一次選考合格者に対し、小論文を課し、論理的思考力、表現力及び記述力を評価し、面接（口頭試問を含む）により、入学後に必要な基礎学力と勉学意欲を測ります。

[私費外国人留学生入試]

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績、TOEFLの成績及び面接により、志望学科の学業に対する熱意と適性を測ります。

[3年次編入学試験]

試験科目として、英語、口頭試問及び面接を課し、編入学後に必要な学力と勉学意欲を測ります。

【3. 高等学校段階で習得すべき内容・水準】

農学は、農業生産を中心として、医・薬・理・工・経・文など衣食住に関わる多様な分野ならびに自然環境に至るまでの幅広い分野を有する総合科学です。本学部の学生は、一般入試・特別入試（推薦、帰国子女）・編入学という異なる方式で入学していますが、いずれの入学方式においても、各試験科目については高校卒業程度（編入学は短大・高専卒業程度）の理解水準が必要です。

また、佐賀大学農学部の3つの学科では、それぞれの学科の教育内容に応じて次のような知識と学力を持つ学生を求めています。

応用生物学

理科（生物Ⅰ・化学Ⅰ）、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ）、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）についての高等学校レベルの知識を修得しているとともに関連した問題を解く能力を持つ人

生物環境科学

理系から文系に及ぶ広範な専門領域を学ぶことから、国語・英語・数学の素養に加えて、高等学校レベルの理科及び社会の幅広い知識を修得している人

生命機能科学

化学的手法が多用されることから、化学はもとより、生物、物理、数学等の理系科目に興味を持ち、英語、国語、社会等の基礎学力を修得している人

III 学部、学科・課程等及び募集人員等

| 学部、学科・課程等 | | 募集人員等 入定 学員 | 募集人員 | | | | | | | | 備考 | |
|-----------|-------------|-------------------|----------|----------|------|--------|----|-----|-------------|--------|--|--|
| | | | 一般入試 | | 特別入試 | | | | | | | |
| | | | 前期 日程 | 後期 日程 | 推薦 | 帰子 | 国女 | 社会人 | 佐賀県 推薦入学 | A O | | |
| 文化教育学部 | 教育学選修 | 20 | 14 | 6 | — | — | — | — | — | — | ○左欄の中から1つの課程を志望してください。ただし、学校教育課程においては、1つの選修を志望してください。 | |
| | 教育心理学選修 | 9 | 6 | 3 | — | | | | | | | |
| | 障害児教育選修 | 42 | 23 | 8 | 11 | | | | | | | |
| | 教科教育選修 | 7 | 5 | 2 | — | | | | | | | |
| | 理学科選修 | 7 | 5 | 2 | — | | | | | | | |
| | 数学選修 | 5 | — | 3 | — | | | | | | | |
| | 音楽選修 | 90 | 53 | 24 | 11 | | | | | | | |
| | 小計 | 60 | 40 | 14 | 6 | | | | | | | |
| | 国際文化課程 | 60 | 35 | 12 | 3 | | | | | | | |
| | 欧米文化選修 | 30 | 19 | 7 | 4 | | | | | | | |
| | 人間環境課程 | 60 | 35 | 12 | 7 | | | | | | | |
| | 健康福祉・スポーツ選修 | 240 | 147 | 57 | 31 | | | | | | | |
| 経済学部 | 国際経済社会コース | 140 | 100 | 40 | 60 | — | — | — | — | — | ○一般入試は、2課程の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 | |
| | 総合政策コース | 135 | 95 | 40 | | | | | | | | |
| | 経営・法律課程 | 275 | *195 | 80 | | | | | | | | |
| | 小計 | — | — | — | | | | | | | | |
| 医学部 | 医学科 | 106 | ※51 | 20 | ※33 | 若干人 | — | 2 | — | — | ○医学科の推薦入試における募集人員33人のうち、地域枠として16人以内は佐賀県内の高等学校卒業見込み者とし、それ以外は佐賀県を含めた全国の高等学校卒業見込み者とします。 | |
| | 看護学科 | 60 | 32 | 5 | 23 | | | | | | | |
| | 小計 | 166 | 83 | 25 | 56 | | | | | | | |
| 理工学部 | 数理科学科 | 30 | 24 | 6 | — | 各学科若干人 | — | — | — | — | ○一般入試は、7学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 | |
| | 物理科学科 | 40 | 32 | 8 | — | | | | | | | |
| | 知能情報システム学科 | 60 | 48 | 10 | 2 | | | | | | | |
| | 機能物質化学生物学 | 90 | 62 | 16 | 12 | | | | | | | |
| | 機械システム工学科 | 90 | 68 | 17 | 5 | | | | | | | |
| | 電気電子工学科 | 90 | 69 | 17 | 4 | | | | | | | |
| | 都市工学科 | 90 | 61 | 15 | 14 | | | | | | | |
| | 小計 | 490 | 364 | 89 | 37 | | | | | | | |
| | 応用生物科学科 | 45 | 25 | 10 | 10 | | | | | | | |
| | 生物環境科学科 | 60 | 30 | 15 | 15 | | | | | | | |
| 農学部 | 生命機能科学科 | 40 | 30 | 5 | 5 | | | | | | | |
| | 小計 | 145 | 85 | 30 | 30 | | | | | | | |
| 合計 | | 1,316 | 814 | 281 | 214 | | | 2 | 5 | | | |

(備考) 推薦入試、佐賀県推薦入学特別入試及びAO入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の前期日程の合格者で補充します。ただし、学校教育課程音楽選修については、一般入試の後期日程の合格者で補充します。

後期日程の募集人員には、帰国子女特別入試及び社会人特別入試の募集人員（若干人）を含みます。

※医学科の推薦入試には「佐賀県医師修学資金」が貸与される5人、一般入試（前期日程）には「長崎県医学修学資金」が貸与される1人が募集人員に含まれます。なお、詳細は各入学試験募集要項に掲載します。

IV 出願資格

本学へ出願できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

1 一般入試

- ① 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」といいます。）を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行います。

※申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により、入学資格の認定を受けようとする者は、平成23年8月31日（水）までに申請するものとします。

ただし、他大学において入学資格の認定を受け、平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験に出願し、受理された者については、平成24年1月18日（水）までに申請するものとします。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書してください。

【申請先】〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課 あて
(電話) 0952-28-8177 (ホームページ) <http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

（参考）学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

※上記出願資格以外に、平成24年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(34~43ページ参照)のうち一つでも受験しなかった者は、失格となりますので注意してください。

2 特別入試（推薦）

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を平成24年3月卒業見込みの者
- ② 特別支援学校の高等部を平成24年3月卒業見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成24年3月修了見込みの者

なお、上記①~③において、経済学部及び医学部は平成23年度中に卒業（修了）を認められた者を、文化教育学部人間環境課程健康福祉・スポーツ選修は既卒業（修了）者をそれぞれ含みます。

また、46ページから59ページの特別入試（推薦）において記載している「高等学校」とは、高等学校、中等教育学校、特別支援学校並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設とします。

3 特別入試（帰国子女、社会人、佐賀県推薦入学、AO）及び私費外国人留学生入試の志願者については61ページから68ページを参照してください。

V 選抜方法

入学者の選抜は、一般入試（前期日程、後期日程）及び特別入試（推薦、帰国子女、社会人、佐賀県推薦入学、AO）並びに私費外国人留学生入試により行います。

1 一般入試

- (1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績、調査書の内容を総合的に判断し、合格者を決定します。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目等は、34ページから43ページを参照してください。

また、大学入試センター試験の成績は、平成24年度大学入試センター試験の成績を用います。

なお、① 文化教育学部においては、学校教育課程(教育学選修、教育心理学選修、障害児教育選修、教科教育選修)及び人間環境課程の個別学力検査(前期日程)の選択教科間(国語、数学、外国語)で選択した試験問題の難易度による不公平を是正するため得点調整を行います。

② 医学部においては、面接を行い、総合判定の重要な資料とともに、評価が低い者は不合格とすることがあります。

また、入学志願者が、医学科、看護学科とも前期日程にあっては募集人員の約5倍を、後期日程にあっては約7倍を上回り、試験を適切に行なうことが困難であると予想される場合には、2段階選抜を実施します。

なお、2段階選抜は、大学入試センター試験の成績及び調査書の審査による選抜を行い、前期日程にあってはその合格者に対して個別学力検査等を実施し、後期日程にあってはその合格者に対して調査書の追加として自己推薦書を提出させ、個別学力検査等を実施します。

③ 農学部においては、大学入試センター試験及び個別学力検査の受験した科目で1科目でも基準点以下がある場合は、不合格とします。

- (2) 本学が課す大学入試センター試験の受験を要する教科・科目と個別学力検査等の教科・科目等のうち一つでも受験しなかった者は、失格とします。

- (3) 採点・評価基準、合否判定基準は、募集要項に掲載します。

- (4) 入学手続締切後、入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、追加合格により欠員補充を行います。

* 個別学力検査等実施日程

| 前期日程 | 出願期間 | | 平成24年1月23日(月)～2月1日(水) |
|------|------|----------------------|-----------------------|
| | 試験日 | 文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部 | 平成24年2月25日(土) |
| | | 医学部 | 平成24年2月25日(土)～26日(日) |
| | | 合格者発表日 | 平成24年3月6日(火) |
| 後期日程 | 出願期間 | | 平成24年1月23日(月)～2月1日(水) |
| | 試験日 | 文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部 | 平成24年3月12日(月) |
| | | 医学部 | 平成24年3月12日(月)～13日(火) |
| | | 合格者発表日 | 平成24年3月21日(水) |

※ 後期日程の理工学部にあっては、個別学力検査を課しません。

2 特別入試

- (1) 推薦 …… 46ページから60ページ「特別入試(推薦)」を参照してください。
(2) 帰国子女 …… 61ページから62ページ「特別入試(帰国子女)」を参照してください。
(3) 社会人 …… 63ページ「特別入試(社会人)」を参照してください。
(4) 佐賀県推薦入学 …… 64ページ「特別入試(佐賀県推薦入学)」を参照してください。
(5) A O …… 65ページから66ページ「特別入試(AO)」を参照してください。

3 私費外国人留学生入試 …… 67ページから68ページ「私費外国人留学生入試」を参照してください。

平成24年度 佐賀大学入学者選抜方法等

(一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試)

[前期日程]

| 入試方法等 学部, 学科・課程等名 | | 個別学力検査等 | | | | | | | | | | 専門高校・総合学科卒業生入試 | | | | | 個別学力検査等の日程 (欠員の補充の方法等) |
|----------------------|---------------------------------------|---------|-------|--------|---------|-----------------|--|----------------|----------|-----|---------|----------------|--------|-----------------|---|------|---------------------------|
| | | 実技検査等 | | | | | 2段階選抜 | | | | | 実技検査等 | | | | 募集人員 | |
| | | 実技検査を課す | 面接を行う | 小論文を課す | 総合問題を課す | 外国語におけるリスニングを課す | 主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う | 第1段階の選抜による合格者数 | 定員に対する倍率 | その他 | 実技検査を課す | 面接を行う | 小論文を課す | 外国語におけるリスニングを課す | | | |
| 文化教育学部 | 教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 教科教育選修 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | 2月25日 追加合格 |
| | 理科選修 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 数学選修 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 音楽選修 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 国際文化課程 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 人間環境課程 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 経済学部 | 美術・工芸課程 | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | 2月25日 ～26日 |
| | 経済学部 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 医学部 | 医学科 | × | × | ○ | × | ○ | × | ○ | 約5倍 | × | × | × | × | × | × | × | 2月25日 ～26日 |
| | 看護学科 | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 理工学部 | | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | 2月25日 |
| 農学部 | | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |

平成24年度 佐賀大学入学者選抜方法等

(一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試)

[後期日程]

| 入試方法等 学部, 学科・課程等名 | | 個別学力検査等 | | | | | | | | | 専門高校・総合学科卒業生入試 | | | | | | 個別学力検査等の日程 (欠員の補充の方法等) |
|----------------------|---------------------------------------|---------|-------|--------|---------|-----------------|--|----------------|----------|-----|----------------|-------|--------|-----------------|---|------|---------------------------|
| | | 実技検査等 | | | | | 2段階選抜 | | | | 実技検査等 | | | | | 募集人員 | |
| | | 実技検査を課す | 面接を行う | 小論文を課す | 総合問題を課す | 外国語におけるリスニングを課す | 主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う | 第1段階の選抜による合格者数 | 定員に対する倍率 | その他 | 実技検査を課す | 面接を行う | 小論文を課す | 外国語におけるリスニングを課す | | | |
| 文化教育学部 | 教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 教科教育選修 | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | 3月12日 追加合格 |
| | 理科選修 | × | × | ○(注) | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 数学選修 | × | × | ○(注) | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 音楽選修 | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 国際文化課程 | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 人間環境課程 | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 経済学部 | 美術・工芸課程 | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | 3月12日 ～13日 |
| | 経済学部 | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | 医学部 | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | 約7倍 | × | × | × | × | × | × | |
| | 理工学部 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 農学部 | 農学部 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | 3月12日 |

(注) 口頭試問を含みます。

平成24年度 佐賀大学入学者選抜方法等

(特別入試)

| 入試方法等 | | | 推薦入試 | | | | | | | 帰国子女、社会人等のための特別入試 | | | 佐賀県推薦入学 | アドミッション・オフィス入試 | 備考 | | |
|---------|------------|-----------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|-----------|-------------------|----------|-----|---------|----------------|----|--|--|
| | | | 個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課す | 個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する | 実技検査等 | | | | | 推薦入試募集人員 | | | | | | | |
| | | | | | 実技検査を課す | 面接を行う | 小論文を課す | 外国語におけるリスニングを課す | その他の | 帰国子女 | 中国引揚者等子女 | 社会人 | | | | | |
| 文化教育学部 | 学校教育課程 | 教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |
| | | 教科教育選修 | × | ○ | ○ | ○ (注1) | ○ | × | × | 11人 | × | × | × | × | × | | |
| | | 理科学選修 数学選修 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |
| | | 音楽選修 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | | |
| | 国際文化課程 | | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 6人 | × | × | × | × | × | | |
| | 人間環境課程 | 生活・環境・技術選修 | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | × | 3人 | × | × | × | × | × | | |
| | | 健康福祉・スポーツ選修 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 7人 | × | × | × | × | ○ | | |
| | 美術・工芸課程 | | × | ○ | ○ | ○ (注1) | × | × | × | 4人 | × | × | × | × | × | | |
| | 経済学部 | | | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | 60人 | × | × | × | × | × | | |
| | 医学部 | 医学科 | × | ○ | × | ○ | × | × | ○ (注2) | ※ 33人 | ○ | × | × | 2人 | × | | |
| | | 看護学科 | × | ○ | × | ○ | × | × | ○ (注2) | 23人 | × | × | ○ | × | × | | |
| 理工学部 | 物理学科 | 物理学科 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | | |
| | 知能情報システム学科 | | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | × | 2人 | ○ | × | × | × | × | | |
| | 機能物質化学科 | 機能物質化学科 | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | × | 12人 | ○ | × | × | × | × | | |
| | | 機能材料化学科 | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | × | 5人 | ○ | × | × | × | × | | |
| | 機械システム工学科 | | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | × | 5人 | ○ | × | × | × | × | | |
| | 電気電子工学科 | | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | × | 4人 | ○ | × | × | × | × | | |
| | 都市工学科 | 都市工学科 | 都市 | 都市環境基盤コース | ○ (注1) | ○ | × | × | × | 14人 | ○ | × | × | × | × | | |
| | | 建築・都市デザインコース | ○ (注1) | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | | |
| 農学部 | 応用生物科学科 | | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | × | 10人 | ○ | × | × | × | × | | |
| | 生物環境科学科 | 生物環境科学科 | 生物環境 | 生物環境保全学コース | ○ (注1) | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | | |
| | | 資源循環生産学コース | ○ (注1) | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | | |
| | 地域社会開発学コース | | 地域社会開発学コース | ○ (注1) | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | | |
| 生命機能科学科 | 生命機能科学科 | | × | ○ | × | ○ (注1) | ○ | × | × | 5人 | ○ | × | × | × | × | | |

(注1) 口頭試問を含みます。

(注2) 医学部のその他では、論述式による総合的な問題（総合問題）を課します。

※推薦入試における募集人員33人のうち、地域枠として16人以内は佐賀県内の高等学校卒業見込み者とし、それ以外は佐賀県を含めた全国の高等学校卒業見込み者とします。

平成24年度大学入試センター試験の利用教科・科目等について

1 平成24年度大学入試センター試験時間割等の変更に伴う措置について

- (1) 平成24年度大学入試センター試験から地理歴史・公民及び理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」と「第2解答科目」として取扱います。
- ① 地理歴史・公民の科目において、2科目受験した場合の取扱いについては、地理歴史・公民の受験科目を1科目と指定している場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史・公民の得点として採用します。
- ② 理科の科目において、2科目受験した場合の取扱いについては、理科の受験科目を1科目と指定している場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。
- ③ 地理歴史・公民及び理科を含め複数科目のうちから選択指定している場合の取扱いについては、地理歴史・公民及び理科の「第1解答科目」を採用後、その他の受験した科目のうちから指定した科目数の範囲内で高得点順に採用します。

2 得点の採用例

(1) 地理歴史・公民及び理科において1科目を指定している場合

| 教科 | 科目名等 |
|-------------------------------|--|
| 国 地歴・ 公民 数 理 外 | 国【必須】 <u>世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B,</u> } から1 <u>現社, 倫, 政経, 倫・政経</u> 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から2 <u>理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I</u> から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目] |
| 取扱 | ①地理歴史・公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史・公民の得点として採用します。 ②理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。 |

(2) 複数教科のうちから選択指定している場合

| 教科 | 科目名等 |
|-------------------------------|---|
| 国 地歴・ 公民 数 理 外 | 国【必須】 <u>世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B,</u> } から1又は2 <u>現社, 倫, 政経, 倫・政経</u> 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1又は2 <u>理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I</u> から1又は2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目] |
| 取扱 | ①地理歴史・公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史・公民の得点として採用します。 ②理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。 ③地理歴史・公民及び理科を含め複数科目のうちから選択指定している場合の取扱いについては、地理歴史・公民及び理科の「第1解答科目」を採用後、その他の受験した科目のうちから指定した科目数の範囲内で高得点順に採用します。 |

平成24年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

| 学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度 志願倍率〕 | 学力検査等の区分・ 日程 | 大学入試センター試験の 利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | | | |
|--|--|---------------------------|--|---|-------------|---|--|
| | | 教科 | 科目名等 | 教科等 | 科目名等 | 2段階 選抜 | |
| 文化教育 学部 〔4.6〕 240人 前 期 147 後 期 57 その他 36 | 学校教育課程 教育学選修 教育心理学選修 20人 前 期 14 後 期 6 | 前期 2月 25日 | 国 数 地歴・ 公民 理外 | 国【必須】 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から2 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1又は2 }から3 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) } (注3) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1又は2(注2) } (注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目] | 国 数 外 | 国表I・国総 数I・数II・数A・数B (注5) 英I・英II・ リーディング・ライティング } 1教科選択 | |
| | | 後期 3月 12日 | 国 地歴・ 公民 数 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 (注4) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 (注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目] | その他 | 小論文 | |
| | | 前期 2月 25日 | 国 数 地歴・ 公民 理外 | 国【必須】 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から2 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1又は2 }から3 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) } (注3) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1又は2(注2) } (注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目] | 国 数 外 | 国表I・国総 数I・数II・数A・数B (注5) 英I・英II・ リーディング・ライティング } 1教科選択 | |
| | | 後期 3月 12日 | 国 地歴・ 公民 数 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 (注4) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 (注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目] | その他 | 小論文 | |
| | 学校教育課程 障害児教育選修 9人 前 期 6 後 期 3 | 前期 2月 25日 | 国 数 地歴・ 公民 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 (注4) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 (注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目] | 国 数 外 | 国表I・国総 数I・数II・数A・数B (注5) 英I・英II・ リーディング・ライティング } 1教科選択 | |
| | | 後期 3月 12日 | 国 地歴・ 公民 数 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 (注4) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 (注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目] | その他 | 小論文 | |
| | | 前期 2月 25日 | 国 地歴・ 公民 数 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 (注4) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目] | 国 数 外 | 国表I・国総 数I・数II・数A・数B (注5) 英I・英II・ リーディング・ライティング } 1教科選択 | |
| | | 後期 3月 12日 | 国 地歴・ 公民 数 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 (注4) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 (注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目] | その他 | 小論文 | |
| | | 前期 2月 25日 | 国 地歴・ 公民 数 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から2 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 国 数 外 | 国表I・国総 数I・数II・数A・数B (注5) 英I・英II・ リーディング・ライティング } 1教科選択 | |
| 学校教育課程 教科教育選修 42人 前 期 23 後 期 8 その他 11 | 後期 3月 12日 | 国 地歴・ 公民 数 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 (注4) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1 (注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目] | その他 | 小論文 | | |
| | | 国 地歴・ 公民 数 理外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } (注1) 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から2 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | その他 | 面接 (注6) | | |

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国語において英語を受験した者については、リスニングも含みます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

(注2) 理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第2解答科目」の中で高得点の科目を採用します。

(注4) 数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

【個別学力検査等】欄

(注5) 数Bは、「数列」、「ベクトル」から出題します。

(注6) 面接は、口頭試問を含みます。

| 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 | | | | | | | | | | | | 特別の入試方法等 | |
|------------------------|------|--------|------|------|-------|------|------|-----|----|-----|------|----------|------|
| 試験の区分 | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 総合問題 | 小論文 | 実技 | 面接 | 調査書等 | 配点合計 | |
| センター試験 | 200 | * (注1) | | 200 | *(注1) | 200 | | | | | | 900 | 外国人 |
| 個別学力検査 | *200 | | | *200 | | *200 | | | | | | 200 | 追加合格 |
| 計 | *400 | * (注1) | | *400 | *(注1) | *400 | | | | | | 1100 | |
| センター試験 | 200 | *200 | *200 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | 200 | | | | 200 | |
| 計 | 200 | *200 | *200 | 200 | 200 | 200 | | 200 | | | | 1200 | |
| センター試験 | 200 | * (注1) | | 200 | *(注1) | 200 | | | | | | 900 | 外国人 |
| 個別学力検査 | *200 | | | *200 | | *200 | | | | | | 200 | 追加合格 |
| 計 | *400 | * (注1) | | *400 | *(注1) | *400 | | | | | | 1100 | |
| センター試験 | 200 | *200 | *200 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | 200 | | | | 200 | |
| 計 | 200 | *200 | *200 | 200 | 200 | 200 | | 200 | | | | 1200 | |
| センター試験 | 200 | 100 | 100 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 1000 | 推薦 |
| 個別学力検査 | *300 | | | *300 | | *300 | | | | | | 300 | 外国人 |
| 計 | *500 | 100 | 100 | *500 | 200 | *500 | | | | | | 1300 | 追加合格 |
| センター試験 | 200 | *200 | *200 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | 200 | | | | 200 | |
| 計 | 200 | *200 | *200 | 200 | 200 | 200 | | 200 | | | | 1200 | |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 200 | 300 | 125 | | | | | | 825 | 外国人 |
| 個別学力検査 | *100 | | | *100 | | *100 | | | | | | 100 | 追加合格 |
| 計 | *200 | *100 | *100 | *300 | 300 | *225 | | | | | | 925 | |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 200 | 400 | 125 | | | | | | 925 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | 100 | | 100 | |
| 計 | 100 | *100 | *100 | 200 | 400 | 125 | | | | 100 | | 1025 | |

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

センター試験配点欄で、学校教育課程教育学選修・教育心理学選修、障害児教育選修の* (注1) は、「地理・歴史、公民、理科」から2教科3科目又は3教科3科目選択し、配点は各科目100点の合計300点とします。

平成24年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

| 学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度 志願倍率〕 | 学力検査等の区分・ 日程 | 大学入試センター試験の 利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | | |
|---|--------------------------------------|-------------------------------|--|---------|---|-----------|
| | | 教科 | 科目名等 | 教科等 | 科目名等 | 2段階 選抜 |
| 文化教育 学部 | 学校教育課程 数学選修 7人 前期 5 後期 2 | 国 地歴・ 公民 数 理 外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B【必須】 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数 | 数I・数II・数A・数B(注6) その他 面接(注7) | |
| | | | | | | |
| 国際文化課程 60人 前期 40 後期 14 その他 6 | 後期 3月 12日 | 国 地歴・ 公民 数 理 外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1(注5) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1(注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目] | その他 | 実技検査 その他 小論文 | |
| | | | | | | |
| 人間環境課程 60人 前期 35 後期 12 その他 13 | 前期 2月 25日 | 国 地歴・ 公民 数 理 外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }(注1) 数I・数A, 数II・数B, }から1又は2 }から3 工, 篩・会, 情報 }(注3) 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, }から1又は2 地学I }(注2) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目又は6教科7科目] | 国外 | 国表I・国総 英I・英II・リーディング・ライティング その他 小論文 | |
| | | | | | | |

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国语において英語を受験した者については、リスニングも含みます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(※1)「地理歴史・公民」の選択は、(地理歴史から2科目)又は(地理歴史1科目、公民1科目)とします。

(※2)「地理歴史・公民」の2科目選択の場合は、(地理歴史1科目、公民1科目)とします。

(注1)地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

(注2)理科の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を理科の得点として採用します。

(注3)理科の受験した科目のうちの「第2解答科目」及び数学の受験した科目の中で高得点の2科目の得点を採用します。

(注4)地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第2解答科目」並びに数学の受験した科目の中で高得点の3科目の得点を採用します。

(注5)数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

【個別学力検査等】欄

(注6)数Bは、「数列」、「ベクトル」から出題します。

(注7)面接は、口頭試問を含みます。

| 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 | | | | | | | | | | | | 特別の入試方法等 | |
|------------------------|------|-----------|------|----------|-----|------|------|-----|-----|-----|------|----------|-----------|
| 試験の区分 | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 総合問題 | 小論文 | 実技 | 面接 | 調査書等 | 配点合計 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 300 | 200 | 200 | | | | | | 1000 | 外国人 |
| 個別学力検査 | | | | 400 | | | | | | | | 400 | 追加合格 |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 700 | 200 | 200 | | | | | | 1400 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 400 | 200 | 200 | | | | | | 1100 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | 200 | | 200 | |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 400 | 200 | 200 | | | | 200 | | 1300 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 100 | 100 | 200 | | | | | | 700 | AO 外国人 |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | 500 | | | 500 | |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 100 | 100 | 200 | | | 500 | | | 1200 | 追加合格 |
| センター試験 | 300 | *300(注1) | | *300(注2) | | 300 | | | | | | 1200 | 推薦 外国人 |
| 個別学力検査 | 400 | | | | | 400 | | | | | | 800 | |
| 計 | 700 | *300(注1) | | *300(注2) | | 700 | | | | | | 2000 | 追加合格 |
| センター試験 | 300 | *300(注1) | | *300(注2) | | 300 | | | | | | 1200 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | 300 | | | | 300 | |
| 計 | 300 | *300(注1) | | *300(注2) | | 300 | | 300 | | | | 1500 | |
| センター試験 | 200 | *1000(注3) | | | | 200 | | | | | | 1400 | 推薦 |
| 個別学力検査 | *200 | | | *200 | | *200 | | | | | | 200 | AO 外国人 |
| 計 | *400 | *1200 | | | | *400 | | | | | | 1600 | 追加合格 |
| センター試験 | 200 | *1000(注3) | | | | 200 | | | | | | 1400 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | 200 | | | | 200 | |
| 計 | 200 | *1000(注3) | | | | 200 | | 200 | | | | 1600 | |

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

(注1) 1教科2科目又は2教科2科目選択し、配点は各科目150点の合計300点とします。

(注2) 2教科3科目選択し、配点は各科目100点の合計300点とします。

(注3) 3教科5科目又は4教科5科目選択し、配点は各科目200点の合計1000点とします。

平成24年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

| 学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度 志願倍率〕 | 学力検査等の区分・ 日程 | 大学入試センター試験の 利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | | |
|--|---|-------------------------|-------------------------------|---|--|-----------|
| | | 教科 | 科目名等 | 教科等 | 科目名等 | 2段階 選抜 |
| 文化教育 学部 | 30人 | 前期 2月 25日 | 国 地歴・ 公民 数理 外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科3科目] | その他 実技検査 | |
| | | 後期 3月 12日 | | | その他 実技検査 | |
| 経済学部 〔3.5〕 275人 前期 135 後期 80 その他 60 | 経済システム 課程 経営・法律課程 | 前期 2月 25日 | 国 地歴・ 公民 数 外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注2) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [4教科5科目] | 外 英I・英II・ リーディング・ライティング | |
| | | 後期 3月 12日 | 国 数 地歴・ 公民 理 外 | 国【必須】 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注3) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [4教科5科目] | その他 小論文 | |
| 医学部 〔5.3〕 166人 前期 83 後期 25 その他 58 | 医学科 106人 前期 51 後期 20 その他 35 | 前期 2月 25日・ 26日 | 国 地歴・ 公民 数 理 外 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, }から1(注2) 現社, 倫, 政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 物I【必須】 化I【必須】 英【必須】 [5教科7科目] | その他 総合問題 「英語系」と「理数系(生物を含む。)」 の資料を用いる。 面接 | 約5倍 |
| | | 後期 3月 12日・ 13日 | 国 地歴・ 公民 数 理 外 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, }から1(注2) 現社, 倫, 政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1 物I, 化I, 生Iから2 英【必須】 [5教科7科目] | その他 面接 | 約7倍 |
| | | 前期 2月 25日・ 26日 | 国 地歴・ 公民 数 理 外 | 国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, }から1(注2) 現社, 倫, 政経 数I・数A, 数II, 数II・数B, 工, 篩・会, 情報から1(注4) 物I, 化I, 生Iから2 英【必須】 [5教科6科目] | その他 小論文 面接 | 約5倍 |
| | 看護学科 60人 前期 32 後期 5 その他 23 | 後期 3月 12日・ 13日 | | | その他 面接 | 約7倍 |

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

外国语において英語を受験した者については、リスニングも含みます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

医学部において、「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(注1) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第1解答科目」並びに数学の受験した科目の中で高得点の1科目の得点を採用します。

(注2) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の受験した科目のうちの「第1解答科目」の中で高得点の1科目の得点を採用します。

(注4) 数学の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち高得点の科目を採用します。

| 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 | | | | | | | | | | | | 特別の入試方法等 | |
|------------------------|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|------|----------|------------------------------------|
| 試験の区分 | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 総合問題 | 小論文 | 実技 | 面接 | 調査書等 | 配点合計 | |
| センター試験 | 200 | *200 | *200 | *200 | *200 | 200 | | | | | | 600 | 推薦 外国人 追加合格 |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | 500 | | | 500 | |
| 計 | 200 | *200 | *200 | *200 | *200 | 200 | | | 500 | | | 1100 | |
| センター試験 | 200 | *200 | *200 | *200 | *200 | 200 | | | | | | 600 | 推薦 外国人 追加合格 |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | 600 | | | 600 | |
| 計 | 200 | *200 | *200 | *200 | *200 | 200 | | | 600 | | | 1200 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | | 200 | | | | | | 700 | 推薦 外国人 追加合格 |
| 個別学力検査 | | | | | | 100 | | | | | | 100 | |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 200 | | 300 | | | | | | 800 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | *100 | 200 | | | | | | 700 | 推薦 外国人 追加合格 |
| 個別学力検査 | | | | | | | | 100 | | | | 100 | |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 200 | *100 | 200 | | 100 | | | | 800 | |
| センター試験 | 140 | *70 | *70 | 140 | 140 | 140 | | | | | | 630 | 推薦 帰国子女 佐賀県推薦 外国人 追加合格 |
| 個別学力検査 | | | | | | | 240 | | | ☆60 | 100 | 400 | |
| 計 | 140 | *70 | *70 | 140 | 140 | 140 | 240 | | | 60 | 100 | 1030 | |
| センター試験 | 140 | *70 | *70 | 140 | 140 | 140 | | | | | | 630 | 推薦 外国人 追加合格 |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | ☆180 | 100 | 280 | |
| 計 | 140 | *70 | *70 | 140 | 140 | 140 | | | | 180 | 100 | 910 | |
| センター試験 | 140 | *70 | *70 | 100 | 200 | 140 | | | | | | 650 | 推薦 社会人 追加合格 |
| 個別学力検査 | | | | | | | | 100 | | ☆60 | 100 | 260 | |
| 計 | 140 | *70 | *70 | 100 | 200 | 140 | | 100 | | 60 | 100 | 910 | |
| センター試験 | 140 | *70 | *70 | 100 | 140 | 140 | | | | | | 590 | 推薦 社会人 追加合格 |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | ☆180 | 100 | 280 | |
| 計 | 140 | *70 | *70 | 100 | 140 | 140 | | | | 180 | 100 | 870 | |

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

配点に☆印を付してある面接は、総合判定の重要な資料とともに、評価が低い者は不合格とすることがあります。

平成24年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

| 学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度 志願倍率〕 | 学力検査等の区分・ 日程 | 大学入試センター試験の 利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | | |
|---|--|-------------------------|---|---------|--|-----------|
| | | 教科 | 科目名等 | 教科等 | 科目名等 | 2段階 選抜 |
| 理工学部 〔3.4〕 490人 前期364 後期89 その他37 | 数理科学科 30人 前期 24 後期 6 その他 若干 | 国 地歴・ 公民 数理 外 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数理 | 数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II, 化I・化IIから1(注3)(注4)(注5) 個別学力検査は課しません。 | |
| | 物理科学科 40人 前期 32 後期 8 その他 若干 | 国 地歴・ 公民 数理 外 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数理 | 数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注4) 個別学力検査は課しません。 | |
| | 知能情報 システム学科 60人 前期 48 後期 10 その他 2 | 国 地歴・ 公民 数理 外 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数理 | 数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II, 化I・化IIから1(注3)(注4)(注5) 個別学力検査は課しません。 | |
| | 機能物質化学科 90人 前期 62 後期 16 その他 12 | 国 地歴・ 公民 数理 外 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 簿・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数理 | 数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II, 化I・化IIから1(注3)(注4)(注5) 個別学力検査は課しません。 | |

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

外国语において英語を受験した者については、リスニングも含みます。なお、リスニング未受験の者については、失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1) 地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

【個別学力検査等】欄

(注2) 数Bは、「数列」、「ベクトル」から、数Cは、「行列とその応用」、「式と曲線」から出題します。

(注3) 理科において2科目を受験した者については、高得点の科目の成績を用います。

(注4) 物IIは、「力と運動」、「電気と磁気」、「物質と原子(原子、分子の運動のみ)」から出題します。

(注5) 化IIの「生活と物質」、「生命と物質」について出題する場合は、併置出題とし、一方を選択解答とします。

| 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 | | | | | | | | | | | | 特別の入試方法等 | |
|------------------------|-----|------|------|-----|-----|-----|------|-----|----|----|------|----------|-------------------|
| 試験の区分 | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 総合問題 | 小論文 | 実技 | 面接 | 調査書等 | 配点合計 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 900 | 帰国子女 外国人 |
| 個別学力検査 | | | | 360 | 240 | | | | | | | 600 | |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 560 | 440 | 200 | | | | | | 1500 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 900 | 帰国子女 外国人 |
| 個別学力検査 | | | | 360 | 240 | | | | | | | 600 | |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 560 | 440 | 200 | | | | | | 1500 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 900 | 推薦 帰国子女 外国人 |
| 個別学力検査 | | | | 360 | 240 | | | | | | | 600 | |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 560 | 440 | 200 | | | | | | 1500 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 900 | 推薦 帰国子女 外国人 |
| 個別学力検査 | | | | 360 | 240 | | | | | | | 600 | |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 560 | 440 | 200 | | | | | | 1500 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

平成24年度 佐賀大学入学者選抜における実施教科・科目等

| 学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度 志願倍率〕 | 学力検査等の区分・日程 | 大学入試センター試験の利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | | |
|---|---|---------------------|---|---------|--|-------|
| | | 教科 | 科目名等 | 教科等 | 科目名等 | 2段階選抜 |
| 理工学部 | 機械システム工学科 90人 前期 68 後期 17 その他 5 | 国・地歴・公民 2月25日 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 築・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数理 | 数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3) | |
| | | 国・地歴・公民 2月25日 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 築・会, 情報から1 物I【必須】 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | | 個別学力検査は課しません。 | |
| | 電気電子工学科 90人 前期 69 後期 17 その他 4 | 国・地歴・公民 2月25日 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 築・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数理 | 数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3) | |
| | | 国・地歴・公民 2月25日 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 築・会, 情報から1 物I【必須】 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | | 個別学力検査は課しません。 | |
| 農学部 | 都市工学科 90人 前期 61 後期 15 その他 14 | 国・地歴・公民 2月25日 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 築・会, 情報から1 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数理 | 数I・数II・数III・数A・数B・数C(注2) 物I・物II(注3) | |
| | | 国・地歴・公民 2月25日 | 国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1(注1) 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 築・会, 情報から1 物I【必須】 化I, 生I, 地学Iから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | | 個別学力検査は課しません。 | |
| | 応用生物科学科 45人 前期 25 後期 10 その他 10 | 国・地歴・公民 2月25日 | 国【必須】 世A, 日B, 地理A, 地理B, } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 | 数外 | 数I・数II・数A・数B(注2) 英I・英II・リーディング | |
| | | 国・地歴・公民 3月12日 | 数II・数B, 工, 築・会, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数 | 数I・数II・数A・数B(注2) | |
| 〔4.4〕 145人 前期 85 後期 30 その他 30 | 生物環境科学科 60人 前期 30 後期 15 その他 15 | 国・地歴・公民 2月25日 | 数I・数A【必須】 数II・数B, 工, 築・会, 情報から1 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] | 数外 | 数I・数II・数A・数B(注2) 英I・英II・リーディング | |
| | | 国・地歴・公民 3月12日 | | 数 | 数I・数II・数A・数B(注2) | |
| | 生命機能科学科 40人 前期 30 後期 5 その他 5 | 国・地歴・公民 2月25日 | | 数外 | 数I・数II・数A・数B(注2) 英I・英II・リーディング | |
| | | 国・地歴・公民 3月12日 | | 数 | 数I・数II・数A・数B(注2) | |

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」を選択できる者は,高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

外国语において英語を受験した者については,リスニングも含みます。なお,リスニング未受験の者については,失格とします。(大学入試センターにおいて審査の上,リスニングの免除を許可された者を除きます。)

(注1) 地理歴史及び公民の科目において,2科目受験した場合は,受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

【個別学力検査等】欄

(注2) 数Bは,「数列」,「ベクトル」から,数Cは,「行列とその応用」,「式と曲線」から出題します。

(注3) 物IIは,「力と運動」,「電気と磁気」,「物質と原子(原子, 分子の運動のみ)」から出題します。

| 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 | | | | | | | | | | | | 特別の入試方法等 | |
|------------------------|-----|------|------|-----|-----|-----|------|-----|----|----|------|----------|-------------|
| 試験の区分 | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 総合問題 | 小論文 | 実技 | 面接 | 調査書等 | 配点合計 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 900 | 推薦 |
| 個別学力検査 | | | | 360 | 240 | | | | | | | 600 | 帰国子女 外国人 |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 560 | 440 | 200 | | | | | | 1500 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 900 | 推薦 |
| 個別学力検査 | | | | 360 | 240 | | | | | | | 600 | 帰国子女 外国人 |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 560 | 440 | 200 | | | | | | 1500 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| センター試験 | 200 | *100 | *100 | 200 | 200 | 200 | | | | | | 900 | 推薦 |
| 個別学力検査 | | | | 360 | 240 | | | | | | | 600 | 帰国子女 外国人 |
| 計 | 200 | *100 | *100 | 560 | 440 | 200 | | | | | | 1500 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| 個別学力検査 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | | | | | | 1000 | |
| センター試験 | 150 | *50 | *50 | 100 | 200 | 100 | | | | | | 600 | 推薦 |
| 個別学力検査 | | | | 200 | | 200 | | | | | | 400 | 帰国子女 外国人 |
| 計 | 150 | *50 | *50 | 300 | 200 | 300 | | | | | | 1000 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *50 | *50 | 100 | 200 | 100 | | | | | | 550 | |
| 個別学力検査 | | | | 200 | | | | | | | | 200 | 追加合格 |
| 計 | 100 | *50 | *50 | 300 | 200 | 100 | | | | | | 750 | |
| センター試験 | 150 | *50 | *50 | 100 | 200 | 100 | | | | | | 600 | 推薦 |
| 個別学力検査 | | | | 200 | | 200 | | | | | | 400 | 帰国子女 外国人 |
| 計 | 150 | *50 | *50 | 300 | 200 | 300 | | | | | | 1000 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *50 | *50 | 100 | 200 | 100 | | | | | | 550 | |
| 個別学力検査 | | | | 200 | | | | | | | | 200 | 追加合格 |
| 計 | 100 | *50 | *50 | 300 | 200 | 100 | | | | | | 750 | |
| センター試験 | 150 | *50 | *50 | 100 | 200 | 100 | | | | | | 600 | 推薦 |
| 個別学力検査 | | | | 200 | | 200 | | | | | | 400 | 帰国子女 外国人 |
| 計 | 150 | *50 | *50 | 300 | 200 | 300 | | | | | | 1000 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *50 | *50 | 100 | 200 | 100 | | | | | | 550 | |
| 個別学力検査 | | | | 200 | | | | | | | | 200 | 追加合格 |
| 計 | 100 | *50 | *50 | 300 | 200 | 100 | | | | | | 750 | |
| センター試験 | 150 | *50 | *50 | 100 | 200 | 100 | | | | | | 600 | 推薦 |
| 個別学力検査 | | | | 200 | | 200 | | | | | | 400 | 帰国子女 外国人 |
| 計 | 150 | *50 | *50 | 300 | 200 | 300 | | | | | | 1000 | 追加合格 |
| センター試験 | 100 | *50 | *50 | 100 | 200 | 100 | | | | | | 550 | |
| 個別学力検査 | | | | 200 | | | | | | | | 200 | 追加合格 |
| 計 | 100 | *50 | *50 | 300 | 200 | 100 | | | | | | 750 | |

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

【大学入試センター試験の「外国語」において、「英語」を選択した志願者に対する「リスニング」の取扱い】

○文化教育学部

学校教育課程教育学選修・教育心理学選修、障害児教育選修、教科教育選修、数学選修、人間環境課程及び美術・工芸課程については、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して、利用します。

学校教育課程理科選修については、筆記試験100点とリスニング25点の合計125点とします。

学校教育課程音楽選修については、筆記試験150点とリスニング50点の合計200点とします。

国際文化課程については、筆記試験240点とリスニング60点の合計300点とします。

○経済学部

筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して、利用します。

○医学部

筆記試験112点とリスニング28点の合計140点とします。

○理工学部

前期日程については、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して、利用します。

後期日程については、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点をそのまま利用します。

○農学部

筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を100点満点に圧縮して、利用します。

※リスニングを免除された者については、各学部とも、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

実技検査（一般入試）の内容

1 文化教育学部学校教育課程音楽選修（後期日程のみ）

すべての受験者に次の(1)～(4)すべてを課す。

(1) 新曲

難易度の異なる旋律を2曲視唱する。

(2) 聴音

難易度の異なる旋律を2曲聴取して記譜する。

(3) 声楽（必ず試験当日までに①②2曲とも学び、暗譜しておくこと）

次の2曲の中から当日指定された1曲を暗譜で歌う。（歌詞は原語）

① ふるさとの F dur (ヘ長調) 石川啄木 作詞 平井康三郎 作曲

② 'Caro mio ben' Es dur (変ホ長調) Giuseppe Giordani 作曲

(4) 器楽

次の①、②の中からいずれかを選んでください。

① ピアノで受験する者

任意のソナタ第1楽章又は終楽章（繰り返しなし）を暗譜で演奏する。

② 管、弦、打楽器で受験する者

ア 管、弦、打楽器で任意の1曲を暗譜で演奏する。

イ ソナチネ程度以上の任意のピアノ曲を1曲演奏する。

2 文化教育学部美術・工芸課程（前期日程・後期日程とも）

【本年度から試験方法が変更されましたのでご注意ください。】

出願時に(1)か(2)のいずれかを選択する。（選択必修科目）

(1) 木炭による石膏デッサン

※持参道具 素描道具一式

ただし、木炭紙、下敷き、カルトン、イーゼルは大学で用意します。

(2) 鉛筆による静物デッサン

※持参道具 素描道具一式

ただし、木炭紙大画用紙、カルトン、イーゼルは大学で用意します。

※(1)、(2)ともに6時間の実技検査です。

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 文化教育学部 学校教育課程 教科教育選修 |
| 募集人員 | 11人 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 0.8em;"> 国語教育(書写) 3人程度 造形教育 2人程度 情報技術教育 2人程度 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 0.8em;"> 音楽教育 2人程度 体育教育 2人程度 </div> </div> |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上で、各教科の評定平均値に2.0以下がない者</p> <p>(2) 入学後、体育実技等の履修に支障がない者</p> <p>(3) 将来、小学校の教員をめざす者</p> <p>(4) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 書写・書道に关心があり、将来、教育現場に就職した場合、書写・書道を中心に研究する意欲を持つ者</p> <p>② 音楽教育に関して意欲・关心が高く、音楽的能力を有する者</p> <p>③ 小学校における図画工作教育に关心が高く、造形表現能力が優れた者</p> <p>④ 運動・スポーツに対して興味・关心が高く、運動部活動を経験した者で、入学後、当該部活動を実践できる者</p> <p>⑤ 情報技術に対して興味・关心が高く、大学において継続して情報技術を向上できる者</p> <p>(5) 高等学校を平成24年3月卒業見込みの者</p> <p>(6) 合格した場合は、確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、記述された内容を、テーマの解釈力、全体的構成力、論理的思考力、文章表現力、個性的な独自の視点に重点を置いてみます。 ● 面接の採点・評価基準 専門領域に関する知識や理解、表現力や積極性、修学意欲等をみます。 ● 実技検査の採点・評価基準 書写・書道では、選択した課題（半紙、条幅）によって書写・書道の基礎能力をみます。音楽では、弾き歌いによって音楽の基礎能力を評価します。造形では、造形に関する基礎的な表現力が身に付いているかをみます。体育では、選択した4種目の基礎運動能力検査結果をデータに基づき評価します。情報技術では、プログラミング又は製作(ものづくり)能力を評価します。 ● 調査書・活動歴等報告書等の採点・評価基準 学業成績、就学状況、部活動、社会活動、各種検定試験合格の有無等をみます。 ● 合否判定基準 第1次選考「書類(調査書、推薦書及び活動歴等報告書)」及び第2次選考「第1次選考合格者に対し、小論文、面接及び実技検査」の各成績評価を総合して、合格者を決定します。 体育教育の入学志願者が多い場合には、第2次選考を適切に行うために募集人員の約5倍の人数を第1次選考合格者の目安とします。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科</p> <p>(2) 上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p> <p>(3) 実技検査の内容（志望する分野により異なります。）</p> <p>① 国語教育（書写）：半紙による楷書、行書の表現及び条幅による古典の臨書</p> <p>② 音楽教育：「冬げしき」（文部省唱歌※小学校音楽科第5学年共通教材）のピアノによる弾き歌い（伴奏楽譜並びに調は指定しない）。</p> <p>③ 造形教育：水性絵具による静物画</p> <p>④ 体育教育：次の各種目の中から4種目を選択して行います。 A 50m走 D 背筋力 B ハンドボール投げ E 持久走（男子1,500m、女子1,000m） C ランニングジャンプ F 反復横跳び </p> <p>⑤ 情報技術教育：コンピュータプログラムの作成又は制御教材等の製作。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 文化教育学部 国際文化課程 |
| 募集人員 | 6人 |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 調査書の学習成績概評がA以上であること。</p> <p>(2) 高等学校を平成24年3月卒業見込みの者</p> <p>(3) 合格した場合は、確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 問題内容を理解しているか、論理的な思考力を身に付けているか、適切な表現及び的確な記述がなされているかをみます。 ● 面接の採点・評価基準 勉学意欲、国際社会への問題意識等をみます。 ● 調査書の採点・評価基準 学業成績等をみます。 ● 合否判定基準 第1次選考「書類(調査書及び推薦書)」及び第2次選考「第1次選考合格者に対し、小論文及び面接」の各成績評価を総合して、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科</p> <p>(2) 各高等学校から推薦できる人員は、全日制、定時制及び通信制の各課程からそれぞれ2人以内とします。なお、推薦順位は要しません。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|--------|---------|------------|--------|-------------|----------|-------|------------|------|---------------|--------------------------|------|
| 実施学部・ 課程名 | 文化教育学部 人間環境課程（全科推薦） | | | | | | | | | | | | |
| 募集人員 | 生活・環境・技術選修 地域・生活文化分野 1人 環境・技術分野 1人 健康福祉・スポーツ選修 スポーツ分野 7人 | | | | | | | | | | | | |
| 出願要件 | 次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1)学業成績、人物ともに優れ、地域・生活文化、環境・技術、又はスポーツのいずれかの分野に対し興味・関心を有する者 ただし、スポーツ分野を希望する者は、優れた競技実績・技能を有し、入学後、当該種目の競技活動を継続できる者 (2)地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、高等学校を平成24年3月に卒業見込みの者 ただし、総合学科推薦との重複出願は認めません。 スポーツ分野では、高等学校を卒業した者及び平成24年3月に卒業見込みの者 (3)合格した場合は、確実に入学できる者 | | | | | | | | | | | | |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、出題されたテーマに対して、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。スポーツ分野では、理解力、論理的思考力、着想力、表現力をみます。 ● 面接の採点・評価基準 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、それぞれの分野に必要な知識、自己の目標や意欲を問います。スポーツ分野では、専門性、意欲関心、判断力、理解力、態度、学習力をみます。 ● 実技検査の採点・評価基準 スポーツ分野では、基礎運動能力、体力、技能をみます。 ● 調査書の採点・評価基準 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、学業成績、部活動、社会活動をみます。スポーツ分野では、活動歴等報告書等（大会要項、成績、記録等内容を確認できるもの。）も併せて、学業成績、部活動（競技歴）、社会活動をみます。 ● 合否判定基準 地域・生活文化分野及び環境・技術分野では、第1次選考「書類（調査書、推薦書及び作文）」及び第2次選考「第1次選考合格者に対し、小論文及び面接」の各成績評価を総合して、合格者を決定します。スポーツ分野では、第1次選考「書類（調査書、推薦書、作文及び活動歴等報告書）」及び第2次選考「第1次選考合格者に対し、小論文、面接及び実技検査」の各成績評価を総合して、合格者を決定します。 | | | | | | | | | | | | |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで | | | | | | | | | | | | |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） | | | | | | | | | | | | |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） | | | | | | | | | | | | |
| その他の | (1)対象となる高等学校の科 高等学校の全科 (2)上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。 (3)スポーツ分野の実技検査は、次の各種目の中から2種目を選択して行います。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">A 50m走</td> <td style="width: 50%;">G 反復横跳び</td> </tr> <tr> <td>B ハンドボール投げ</td> <td>H サッカー</td> </tr> <tr> <td>C ランニングジャンプ</td> <td>I バレーボール</td> </tr> <tr> <td>D 背筋力</td> <td>J バスケットボール</td> </tr> <tr> <td>E 握力</td> <td>K 野球またはソフトボール</td> </tr> <tr> <td>F 持久走（男子1,500m、女子1,000m）</td> <td>L 柔道</td> </tr> </table> | A 50m走 | G 反復横跳び | B ハンドボール投げ | H サッカー | C ランニングジャンプ | I バレーボール | D 背筋力 | J バスケットボール | E 握力 | K 野球またはソフトボール | F 持久走（男子1,500m、女子1,000m） | L 柔道 |
| A 50m走 | G 反復横跳び | | | | | | | | | | | | |
| B ハンドボール投げ | H サッカー | | | | | | | | | | | | |
| C ランニングジャンプ | I バレーボール | | | | | | | | | | | | |
| D 背筋力 | J バスケットボール | | | | | | | | | | | | |
| E 握力 | K 野球またはソフトボール | | | | | | | | | | | | |
| F 持久走（男子1,500m、女子1,000m） | L 柔道 | | | | | | | | | | | | |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 文化教育学部 人間環境課程（総合学科推薦） |
| 募集人員 | 生活・環境・技術選修 地域・生活文化分野あるいは環境・技術分野 1人 |
| 出願要件 | 次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1)学業成績、人物ともに優れ、地域・生活文化分野あるいは環境・技術分野に対して、興味・関心を有する者 (2)高等学校を平成24年3月卒業見込みの者 (3)合格した場合は、確実に入学できる者 |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none">● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対して、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。● 面接の採点・評価基準 志望分野に必要な基礎知識、自己の目標や意欲を問います。● 調査書の採点・評価基準 学業成績、部活動、社会活動をみます。● 合否判定基準 第1次選考「書類(調査書、推薦書及び作文)」及び第2次選考「第1次選考合格者に対し、小論文及び面接」の各成績評価を総合して、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 総合学科 (注) 専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。</p> <p>(2)上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 文化教育学部 美術・工芸課程 |
| 募集人員 | 4人 |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 学業成績、人物ともに特に優れ、美術又は工芸分野における優れた経験・知識・技術・実績及び熱意があると評価される者</p> <p>(2) 高等学校を平成24年3月卒業見込みの者</p> <p>(3) 合格した場合は、確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ●面接の採点・評価基準 美術・工芸に関する口頭試問を行い、基礎的知識や制作活動の経験の把握を行うとともに、美術や工芸に関する意欲をみます。学習の目標が明確で、それが美術・工芸課程の内容に合致する者に高い評価を与えます。 ●実技検査の採点・評価基準 各希望分野の造形力をみます。 ●調査書の採点・評価基準 特に美術・工芸分野に優れた実績を有する者に高い評価を与えます。なかでも、希望専攻分野における成績が特に優れているかをみます。また、出席状況、クラブ活動、日常生活から充実した高校生活を過ごしたと認められる者で、かつ、美術・工芸課程への入学希望理由が明確であるか等をみます。 ●合否判定基準 第1次選考「書類(調査書及び推薦書)」及び第2次選考「第1次選考合格者に対し、面接及び実技検査」の各成績評価を総合して、合格者を決定します。 入学志願者が多い場合には、第2次選考を適切に行うために募集人員の約5倍の人数を第1次選考合格者の目安とします。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1) 対象となる高等学校の科 高等学校の全科</p> <p>(2) 各高等学校から推薦できる人員は、全日制、定時制及び通信制の各課程からそれぞれ2人以内とします。なお、推薦順位は要しません。</p> <p>(3) 実技検査は、石膏デッサン（木炭）、静物デッサン（鉛筆）、油彩、彫塑、平面構成、立体造形A（粘土…ろくろ又は手びねり〔試験時に選択〕）、立体造形B（粘土又は木材等による立体構成）の中から、志願時に1つを申告して受験してください。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|----------|--|
| 実施学部・課程名 | 経済学部（商業系の科・情報系の科・総合学科推薦） 経済システム課程 経営・法律課程 |
| 募集人員 | 経済システム課程 経営・法律課程 } 30人 |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（1）高等学校で成績が最終学年次（最終学年次において外国に留学した者については、その前学年次）に上位10%以内の者で、人物、学力について優れる者 ただし、コース毎等のみの順位による推薦はできません。</p> <p>（2）高等学校を平成24年3月卒業見込みの者（平成23年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）</p> <p>（3）合格した場合は、確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。 ● 面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。 ● 調査書等の採点・評価基準 学修状況、資格取得状況、クラブ活動等をみます。 ● 合否判定基準 第1次選考については書類選考（調査書、推薦書等）により判定します。第2次選考については、第1次選考合格者に対し、小論文、面接及び推薦書の成績とを総合して判定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>（1）対象となる高等学校の科 高等学校の商業系の科（商業高等学校の全科を含みます。）情報系の科及び総合学科 (注) ただし、商業系の専門教育に関する科目（「産業社会と人間」及び情報処理に関する基礎科目を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していることが必要です。</p> <p>（2）上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|----------|---|
| 実施学部・課程名 | 経済学部（普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦） 経済システム課程 経営・法律課程 |
| 募集人員 | 経済システム課程 経営・法律課程 } 30人 |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1)社会科学にとりわけ関心があり、かつ、人物について優れ全体の評定平均値が4.0以上の者 ただし、次のうちいずれかの要件を満たす者に限ります。 ①成績優秀な者（外国語については評定平均値4.3以上とします。） ②社会事象についての分析や、社会的活動等において優れた実績があり、それを裏付ける資料のある者（ただし、この実績については証明する資料を添付してください。） ③個性的で積極性に富み、高等学校長が、大学生活においてその能力を充分に発揮できると評価し、推薦に倣すると思われる者</p> <p>(2)高等学校を平成24年3月卒業見込みの者（平成23年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）</p> <p>(3)合格した場合は、確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読み解き力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。 ● 面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。 ● 調査書等の採点・評価基準 学修状況、クラブ活動等をみます。 ● 合否判定基準 第1次選考については書類選考（調査書、推薦書等）により判定します。第2次選考については、第1次選考合格者に対し、小論文及び面接の成績とを総合して判定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 高等学校の普通科又はこれに準ずると本学部が認める科</p> <p>(2)上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|----------|---|
| 実施学部・課程名 | 医学部 医学科 |
| 募集人員 | 33人（地域枠として16人以内は佐賀県内の高等学校卒業見込み者とし、それ以外は佐賀県を含めた全国の高等学校卒業見込み者とします。） |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1)高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、心身ともに健全である者（④に該当する者については、調査書に④と標示するよう希望します。）</p> <p>(2)将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた医師あるいは医学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者</p> <p>(3)高等学校を平成24年3月に卒業見込みの者（平成23年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）</p> <p>(4)合格した場合は、確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総合問題の採点・評価基準 論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 ● 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲・積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。 なお、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い者は不合格とすることがあります。 ● 調査書等 単に学業成績優秀というのみでなく、心身ともに健全で規則的生活習慣を保ち、学習意欲・積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書によって評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱います。 ● 合格判定方法 高等学校長の推薦書、調査書及び自己推薦書により書類選考を行い、第1次選考の合格者を決定します。入学志願者が多い場合には、第2次選考を適切に行うために募集人員の約5倍の人数を第1次選考合格者の目安とします。第2次選考については、第1次選考の合格者に対して、総合問題を課し、面接を行い、第1次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月26日（土） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 高等学校の全科</p> <p>(2)各高等学校から推薦できる人員は、2人以内とします。ただし、佐賀県内の高等学校は4人以内とします。なお、推薦順位は要しません。</p> <p>(3)推薦入試の合格者（入学手続者）のうち佐賀県内の高等学校卒業見込者は、佐賀県への申請により、卒業後佐賀県内で医療活動に従事し地域医療を担う人材を育成するための「佐賀県医師修学資金」が5人に貸与されます。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

(個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する)

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 医学部 看護学科 |
| 募集人員 | 23人（うち、2人以内を専門系の科及び総合学科から募集します。） |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1)高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、心身ともに健全である者（Ⓐに該当する者については、調査書にⒶと標示するよう希望します。）</p> <p>(2)将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者</p> <p>(3)高等学校を平成24年3月に卒業見込みの者（平成23年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）</p> <p>(4)合格した場合は、確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総合問題の採点・評価基準 論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 ● 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲・積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。 なお、総合判定の重要な資料とするとともに、評価が低い者は不合格とすることがあります。 ● 調査書等 単に学業成績優秀というのみでなく、心身ともに健全で規則的生活習慣を保ち、学習意欲・積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書によって評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱います。 ● 合格判定方法 高等学校長の推薦書、調査書及び自己推薦書により書類選考を行い、第1次選考の合格者を決定します。入学志願者が多い場合には、第2次選考を適切に行うために募集人員の約5倍の人数を第1次選考合格者の目安とします。第2次選考については、第1次選考の合格者に対して、総合問題を課し、面接を行い、第1次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月26日（土） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 高等学校の全科</p> <p>(2)各高等学校から推薦できる人員は、2人以内とします。なお、推薦順位は要しません。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 理工学部（情報系の科・総合学科推薦） 知能情報システム学科 |
| 募集人員 | 知能情報システム学科 2人 |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1)学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者</p> <p>(2)高等学校を平成24年3月卒業見込みの者</p> <p>(3)合格した場合は、確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対し、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。 ● 面接の採点・評価基準 志望学科に必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。 ● 調査書の採点・評価基準 学業成績、クラブ活動や、情報及び理数関連の実績等学業以外の活動が志望動機となっている場合も評価します。 ● 合否判定基準 第1次選考については書類選考（調査書、推薦書等）により判定します。第2次選考については、第1次選考合格者に対し、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 高等学校の情報系の科及び総合学科</p> <p>(注) 高等学校の総合学科については、学科に関する専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。</p> <p>(2)上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|----------|--|
| 実施学部・課程名 | 理工学部（工業系の科・総合学科推薦） 機能物質化学科 機械システム工学科 電気電子工学科 都市工学科 |
| 募集人員 | 機能物質化学科 2人 機械システム工学科 5人 電気電子工学科 4人 都市工学科 4人 |
| 出願要件 | 次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1)学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 (2)高等学校を平成24年3月卒業見込みの者 (3)合格した場合は、確実に入学できる者 |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対し、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。 ● 面接の採点・評価基準 志望学科に必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。 ● 調査書の採点・評価基準 学業成績、クラブ活動や理数関連の実績等学業以外の活動が志望動機となっている場合も評価します。 ● 合否判定基準 第1次選考については書類選考（調査書、推薦書等）により判定します。第2次選考については、第1次選考合格者に対し、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 機能物質化学科：高等学校の工業系の科及び総合学科 (注)工業系の科については全科を対象とします。 機械システム工学科：高等学校の機械系の科及び総合学科 電気電子工学科：高等学校の電気・電子・情報系の科及び総合学科 都市工学科：高等学校の土木・建築系の科及び総合学科 (注)高等学校の総合学科については、それぞれの学科に関係する専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。</p> <p>(2)上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|----------|--|
| 実施学部・課程名 | 理工学部（普通科・理数科・総合学科推薦） 機能物質化学科 都市工学科 |
| 募集人員 | 機能物質化学科 10人 都市工学科 10人 |
| 出願要件 | 次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1)学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 (2)高等学校を平成24年3月卒業見込みの者 (3)合格した場合は、確実に入学できる者 |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマに対し、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力をみます。 ● 面接の採点・評価基準 志望学科に必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。 ● 調査書の採点・評価基準 学業成績、クラブ活動や理数関連の実績等学業以外の活動が志望動機となっている場合も評価します。 ● 合否判定基準 第1次選考については書類選考（調査書、推薦書等）により判定します。第2次選考については、第1次選考合格者に対し、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 両学科とも高等学校の普通科・理数科及び総合学科 (注)高等学校の総合学科については、専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）の修得単位が20単位未満の者（見込みを含みます。）に限ります。</p> <p>(2)上記「出願要件」を満たす者であれば、推薦人員を限定しません。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|----------|---|
| 実施学部・課程名 | 農学部（専門系の科・総合学科推薦） 応用生物科学科 生物環境科学科 生命機能科学科 |
| 募集人員 | 応用生物科学科 3人 生物環境科学科 3人 生命機能科学科 1人 |
| 出願要件 | 次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1)学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2)学習成績概評が④として推薦できる者 これに該当する者は、調査書の「4. 学習成績概評」欄に④と標示し、「9. 備考」欄にその理由を明示してください。 (3)高等学校を平成24年3月卒業見込みの者 (4)合格した場合は、確実に入学できる者 |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力をみます。 ● 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。 ● 調査書の採点・評価基準 学業成績、就学状況、部活動及び社会活動をみます。 ● 合否判定基準 第1次選考については書類選考（調査書、作文等）により判定します。第2次選考については、第1次選考合格者に対し、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 各学科とも高等学校の専門系の科及び総合学科 (注)高等学校の総合学科については、専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。</p> <p>(2)各高等学校の全日制・定時制及び通信制の各課程から推薦できる人員は、応用生物科学科及び生物環境科学科の各学科に対して2人以内、生命機能科学科に対して1人とします。</p> |

平成24年度 特別入試（推薦）

（個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する）

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 農学部（専門系の科を除く全科推薦） 応用生物科学科 生物環境科学科 生命機能科学科 |
| 募集人員 | 応用生物科学科 7人 生物環境科学科 12人 生命機能科学科 4人 |
| 出願要件 | 次の各号のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1)学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2)高等学校を平成24年3月卒業見込みの者 (3)合格した場合は、確実に入学できる者 |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力をみます。 ● 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標や志望学科に対する意欲等について口頭試問します。 ● 調査書の採点・評価基準 学業成績、就学状況、部活動及び社会活動をみます。 ● 合否判定基準 第1次選考については書類選考（調査書、作文等）により判定します。第2次選考については、第1次選考合格者に対し、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)対象となる高等学校の科 各学科とも高等学校の全科（ただし、専門系の科を除きます。） (注)高等学校の総合学科については、専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）の修得単位が20単位未満の者（見込みを含みます。）に限ります。</p> <p>(2)各高等学校の全日制・定時制及び通信制の各課程から推薦できる人員は、各学科に対して2人以内とします。</p> |

推薦入試の実技検査等の配点等

| 区 分 | | 第1次選考 書類審査 (調査書、推薦書等) | 第2次選考 | | | | | 総合得点 (総合評価) | 備考 | | | | | | | |
|------------------------|--|------------------------------------|-------------------------|----------------------------|------------------------------------|-------------|-------------|----------------------------|-----|------|--|--|--|--|--|--|
| | | | 調査書、 推薦書等 | 小論文 | 面接 | 実技検査 | その他 | | | | | | | | | |
| 文化 教 育 学 部 | 学校 教 育 課 程 教 科 教 育 選 修 | 国語教育(書写) | 400 | / | 200 | 100 (注1) | 300 | / | 600 | 1000 | | | | | | |
| | | 音楽教育 | 200 | / | 200 | 200 (注1) | 100 | / | 500 | 700 | | | | | | |
| | | 造形教育 | 400 | / | 200 | 100 (注1) | 300 | / | 600 | 1000 | | | | | | |
| | | 体育教育 | 200 | / | 200 | 200 (注1) | 100 | / | 500 | 700 | | | | | | |
| | | 情報技術教育 | 400 | / | 200 | 200 (注1) | 200 | / | 600 | 1000 | | | | | | |
| | 国際文化課程 | | 100 | / | 200 | 100 | / | / | 300 | 400 | | | | | | |
| | 人間 環境 課 程 | 生活・環境・ 技術選修 | 200 | / | 100 | 100 (注1) | / | / | 200 | 400 | | | | | | |
| | | 健康福祉・ スポーツ選修 | 200 | / | 100 | 100 | 100 | / | 300 | 500 | | | | | | |
| | 美術・工芸課程 | | 200 | / | / | 400 (注1) | 400 | / | 800 | 1000 | | | | | | |
| 経 済 学 部 | 経済システム 課 | 普通科又はこ れに準ずると 本学部が認め る科推薦 | 2段階 評 価 (合, 否) | 100 | 2段階 評 価 (合, 否) (注1) | — | — | 2段階 評 価 (合, 否) | — | | | | | | | |
| | 経営・法律 課 | 商業系の科・ 情報系の科・ 総合学科推薦 | | 40 | 100 | | | | | | | | | | | |
| | 経済システム 課 | 商業系の科・ 情報系の科・ 総合学科推薦 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 経営・法律 課 | 商業系の科・ 情報系の科・ 総合学科推薦 | | | | | | | | | | | | | | |
| 医 学 部 | 医学科 | | 50 | / | / | 30 | 120 (注2) | 150 | 200 | | | | | | | |
| | 看護学科 | | | / | / | | | | | | | | | | | |
| 理 工 学 部 | 知能情報システム学科 | | 2段階 評 価 (合, 否) | 3段階 評 価 (A, B, C) | 3段階 評 価 (A, B, C) (注1) | — | — | 総合 評 価 (良, 可, 不可) | — | | | | | | | |
| | 機能物質化学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械システム工学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電気電子工学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 都市工学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農 学 部 | 応用生物科学科 | | 100 | / | 200 | 200 (注1) | / | 400 | 500 | | | | | | | |
| | 生物環境科学科 | | 100 | / | 200 | 200 (注1) | / | 400 | 500 | | | | | | | |
| | 生命機能科学科 | | 100 | / | 200 | 200 (注1) | / | 400 | 500 | | | | | | | |

(注1) 面接は、口頭試問を含みます。

(注2) その他では、論述式による総合的な問題(総合問題)を課します。

平成24年度 特別入試（帰国子女）

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 医学部 医学科 |
| 募集人員 | 若干人 |
| 出願要件 | <p>日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、保護者とともに2年以上継続して外国に在留し、次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>ただし、平成22年3月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除きます。）した者及び保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの期間が2年以上経過した者は、出願を認めません。</p> <p>（1）学校教育における12年の課程を卒業（修了）した者又は平成24年3月31日までに卒業（修了）見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者</p> <p>ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。</p> <p>（2）外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を授与された者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>（3）ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を授与された者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>（4）フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を授与された者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総合問題の採点・評価基準 論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 ● 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲・積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。 ● 合格判定方法 第1次選考 出願者の提出書類により書類選考を行い、第1次選考の合格者を決定します。選考結果については、平成23年11月中旬に「日本国内の連絡先」あてに通知します。 第2次選考 第1次選考の合格者に対して、総合問題を課し、面接を行い、第1次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月26日（土） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | 大学入試センター試験を免除します。 |

平成24年度 特別入試（帰国子女）

| | |
|----------|---|
| 実施学部・課程名 | <p>理工学部 数理科学科, 物理科学科, 知能情報システム学科, 機能物質化学科, 機械システム工学科, 電気電子工学科, 都市工学科</p> <p>農学部 応用生物科学科, 生物環境科学科, 生命機能科学科</p> |
| 募集人員 | 各学科 若干人 |
| 出願要件 | <p>日本国籍を有する者及び日本国の永住権を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1)学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を外国又は日本において、平成22年4月1日から平成24年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込の者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。</p> <p>(2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を平成22年又は平成23年に授与された者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3)ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成22年又は平成23年に授与された者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4)フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成22年又は平成23年に授与された者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、解釈力、論理的思考力、表現力及び記述力等をみます。 ● 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標、志望学科に対する意欲を問います。 ● 合否判定基準 第1次選考については書類選考（成績証明書等）により判定します。第2次選考については、第1次選考合格者に対し、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。 |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年11月25日（金） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | 大学入試センター試験を免除します。 |

平成24年度 特別入試（社会人）

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 医学部 看護学科 |
| 募集人員 | 若干人 |
| 出願要件 | <p>平成24年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、3年以上社会人としての経験を有する者で、入学後看護学を修める意志があり、卒業後看護の分野で就業する意志のある者で、次のいずれかに該当するものとします。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」と言います。）を卒業した者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3)学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総合問題の採点・評価基準 論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性、及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 ● 面接の採点・評価基準 これまでの社会人としての経験を生かした、看護学科志望の動機、学習意欲・積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通じて評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。 なお、志願理由書及び調査書は面接にあたって参考にします。 ● 合格判定方法 総合問題及び面接の結果を総合して、合格者を決定します。 ● 総合問題等の配点 総合問題 80点、面接 90点（総得点 170点） |
| 出願期間 | 平成23年11月1日（火）から平成23年11月4日（金）まで |
| 入試期日 | 平成23年11月26日（土） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | 大学入試センター試験を免除します。 |

平成24年度 特別入試（佐賀県推薦入学）

| | |
|--------------|--|
| 実施学部・ 課程名 | 医学部 医学科 |
| 募集人員 | 2人 |
| 出願要件 | <p>次の各号のすべてに該当する者で、佐賀県が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1)病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来佐賀県内の医療活動に従事し県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す者</p> <p>(2)高等学校を卒業後2年以内の者又は平成24年3月に卒業見込みの者、若しくは、高等専門学校を第3学年修了後2年以内の者又は平成24年3月修了見込みの者</p> <p>※高等学校には、中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む</p> <p>(3)合格した場合は確実に入学できる者</p> |
| 評価基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総合問題の採点・評価基準 <p>論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</p> ● 面接の採点・評価基準 <p>医学部志望の動機、学習意欲・積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通じて評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断します。また、将来、佐賀県内の医療活動に従事し県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す意思の有無も評価の基準とします。</p> <p>なお、総合判定の重要な資料とともに、評価が低い者は不合格とすることがあります。</p> ● 佐賀県からの推薦書等 <p>単に学業成績優秀というのみでなく、心身ともに健全で規則的な生活習慣を保ち、学習意欲・積極性や協調性に富んでいるかを、佐賀県からの推薦書及び添付書類を参考にして評価します。</p> ● 合格判定方法 <p>佐賀県からの推薦理由書等、総合問題、面接の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。</p> |
| 出願期間 | <p>平成23年11月17日（木）から平成23年11月22日（火）まで</p> <p>（あらかじめ行われる佐賀県による第1次選考に合格し、佐賀県からの推薦を受けた上での出願になります。）</p> |
| 入試期日 | 平成23年11月26日（土） |
| 合格者発表日 | 平成23年12月12日（月） |
| その他の | <p>(1)出願者は佐賀県在住者だけでなく、日本国内の居住者を対象とします。</p> <p>(2)佐賀県から推薦できる人員は6人程度とします。</p> <p>(3)大学入試センター試験を免除します。</p> |

平成24年度 特別入試 (AO)

(個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する)

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 文化教育学部 学校教育課程 音楽選修 |
| 募集人員 | 2人 |
| 出願要件 | <p>音楽選修での勉学を強く希望し、合格した場合は、確実に入学できる者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> |
| 評価基準等 | <p>選考は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>(1)第1次選考 出願書類（調査書、自己推薦書）の評価を総合して選考します。</p> <p>(2)第2次選考 ①専攻楽器（または声楽）の個別レッスン2回 ②ソルフェージュ（初見視唱、初見視奏、聴音、その他） ③小論文（音楽に対する考え方と文章表現力を評価する。） ④面接（楽典や音楽の一般知識を問う試問を含む。） 上記の評価と第1次選考結果とを総合して、合格者を決定します。</p> |
| 出願期間 | 平成23年8月11日（木）から平成23年8月18日（木）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年9月28日（水）から平成23年9月29日（木） |
| 合格者発表日 | <p>第1次選考合格者発表日 平成23年9月5日（月） 最終合格者発表日 平成23年10月7日（金）</p> |
| その他の | 自己推薦書は、自身の音楽歴を踏まえて記入してください（様式については別途指定します。）。 |

平成24年度 特別入試 (AO)

(個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する)

| | |
|--------------|---|
| 実施学部・ 課程名 | 文化教育学部 人間環境課程 健康福祉・スポーツ選修 |
| 募集人員 | スポーツ分野 3人 |
| 出願要件 | <p>健康福祉・スポーツ選修で、スポーツ分野での勉学を強く希望し、合格した場合は、確実に入学できる者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を平成22年3月以降に卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を平成22年3月以降に修了した者及び平成24年3月修了見込みの者</p> <p>(3)学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成22年4月以降にこれに該当する者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> |
| 評価基準等 | <p>選考は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>(1)第1次選考 出願書類（調査書、自己推薦書及び志願者評価書）の評価を総合して選考します。</p> <p>(2)第2次選考 面接（健康福祉・スポーツ選修のスポーツ分野に関する試問とプレゼンテーション）の評価と第1次選考結果とを総合して、合格者を決定します。</p> |
| 出願期間 | 平成23年8月11日（木）から平成23年8月18日（木）まで |
| 入試期日 | 第2次選考日 平成23年9月22日（木） |
| 合格者発表日 | <p>第1次選考合格者発表日 平成23年9月5日（月）</p> <p>最終合格者発表日 平成23年10月7日（金）</p> |
| その他の | 出願書類のうち志願者評価書とは、志願者についてよく知っている成人の第三者（ただし、志願者の3親等以内の親族の者は除きます。）によって作成されたものです（様式については別途指定します。）。 |

VI 私費外国人留学生入試

本学では、私費外国人留学生のために特別の学力試験等を実施します。

1 出願資格

日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」（平成23年6月又は平成23年11月実施のいずれか、医学部は平成23年11月実施のみ）を受験し、TOEFLを受験済みの者（経済学部を除きます。）で、次に掲げる入学資格を有する者

（1）日本国外において、学校教育による12年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者

（2）上記（1）に準ずる者で、文部科学大臣の指定する者

2 募集人員

各学部（文化教育学部、経済学部、医学部、理工学部、農学部）とも若干人

3 入学者選抜方法

（1）文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部

入学者の選抜は、次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績（経済学部を除きます。）並びに本学が行う学力検査等の成績を総合的に判断し、合格者を決定します。

（2）医学部

① 第1次選考

入学者の選抜は、次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績、TOEFLの成績及び出願者の提出書類により、第1次選考の合格者を決定します。

② 第2次選考

第1次選考の合格者に対して、総合問題試験を課し、面接を行い、第1次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

| 事 项 | 文化教育学部 | | | | | | | | | | 経済学部 | 医学部 | 理工学部 | 農学部 |
|-----------------------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | 学校教育課程 | | | | | 人間環境課程 | | | 美術・工芸課程 | | | | | |
| 教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修 | 教科教育選修 | 理科選修 | 数学選修 | 音楽選修 | 国際文化課程 | 生活・環境・技術選修 | 健康福祉・スポーツ選修 | 美術・工芸課程 | 経済学部 | 医学部 | 理工学部 | 農学部 | 理工学部 | 農学部 |
| 利用する回の指定 | 6月、11月のいずれか | | | | | | | | | | 6月、11月のいずれか | 11月 | 6月、11月のいずれか | 6月、11月のいずれか |
| 出題言語の指定 | 日本語 | | | | | 日本語又は英語 | | | 日本語 | 日本語 | 日本語 | 日本語 | 日本語 | 日本語 |
| 文系と理系の別 | 文系又は理系 文系 | 文系又は理系 理系 | 理系 | 理系 | 文系 | 文系 | 文系又は理系 文系 | 文系 | 文系 | 文系 | 文系 | 理系 | 理系 | 理系 |
| 日本語 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 理科 | △ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 数学(コース1) | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 数学(コース2) | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 総合科目 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 理科の選択科目 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 | 「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 |
| TOEFL | ○ | | | | | | | | | | — | ○ | ○ | ○ |
| 学力検査等 | 面接、日本語(作文) | | | | 面接、 実技検査 | 面接、日本語(作文) | | | 面接、 実技検査 | 面接、 日本語 | 面接、 総合問題 | 面接 | 面接 | 面接 |
| 特記事項、備考 | 美術・工芸課程の実技検査は、鉛筆によるデッサン(実技用具は大学で準備します。) | | | | | | | | | | 日本語は、読解、作文、リスニングとします。 | 面接を通じて、志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。 | 面接を通じて、志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。 | 面接を通じて、志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。 |

(注1)○印は、必ず受験しておくことを示します。

(注2)△印は、数学のコース1又はコース2から1つを受験しておくことを示します。

(注3)各学部第1志望のみ。

日本留学試験、TOEFL、学力検査等の配点等

| 事 項 | | 文化教育学部 | | | | | | | | | | | | 経済学部 | 医学部 | 理工学部 | 農学部 | | | | |
|--------|-----------|--------|---------|--------|------|------|------|--------|------------|-------------|-----|---------|-----|------|-----|---------|-----|--|--|--|--|
| | | 学校教育課程 | | | | | | 国際文化課程 | 人間環境課程 | | | 美術・工芸課程 | | | | | | | | | |
| | | 教育学選修 | 教育心理学選修 | 教科教育選修 | 理科選修 | 数学選修 | 音楽選修 | | 生活・環境・技術選修 | 健康福祉・スポーツ選修 | | | | | | | | | | | |
| 日本留学試験 | 文系と理系の別 | 文系又は理系 | 文系又は理系 | 文系 | 理系 | 文系 | 文系 | 文系又は理系 | 文系 | 文系 | 文系 | 文系 | 文系 | 文系 | 理系 | 理系 | 理系 | | | | |
| | | 文系 | 理系 | 文系 | 理系 | | | 文系 | 理系 | | | | | | | | | | | | |
| | 日本語 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 225 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | | | | |
| | 理科 | | 200 | | 200 | 200 | | | | 200 | | | | 200 | 200 | 200 | 200 | | | | |
| | 数学 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 100 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | | | | |
| | 総合科目 | 200 | | 200 | | 200 | | 200 | | 200 | | 100 | | | | | | | | | |
| | 英語(TOEFL) | 300 | | | | | | | | | | | | 300 | 300 | 300 | | | | | |
| | 面接 | 400 | 400 | 300 | 300 | 400 | 500 | 300 | 400 | 300 | 300 | 400 | 500 | 合、否 | 60 | A, B, C | 850 | | | | |
| | 日本語 | 500 | 500 | 600 | 600 | 500 | 400 | | 500 | 600 | 600 | 500 | | 400 | | | | | | | |
| | 総合問題 | | | | | | | | | | | | | 240 | | | | | | | |
| | 実技検査 | | | | | | | 600 | | | | | | | 400 | | | | | | |
| | 総合評価等 | 2050 | | | | | | | | | | | | 合、否 | 合、否 | 良、可、不可 | 合、否 | | | | |

4 出願期間

| | |
|--------------------------|----------------------------|
| 文化教育学部、経済学部、医学部、理工学部、農学部 | 平成24年1月4日(水)～平成24年1月11日(水) |
|--------------------------|----------------------------|

5 入試期日

| | |
|----------------------|-----------------------------|
| 文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部 | 平成24年1月19日(木) |
| 医学部 | 平成24年2月25日(土)～平成24年2月26日(日) |

6 合格者発表日

| | |
|----------------------|---------------|
| 文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部 | 平成24年1月27日(金) |
| 医学部 | 平成24年3月6日(火) |

VII 事前相談を要するみなさんへ

本学において、受験上及び修学上の配慮を必要とされる志願者（障がいを有するなど）は、出願にあたって、次により相談してください。

1 相談の時期

| | |
|------------------|-----------------|
| A O 入 試 志 願 者 | 平成23年7月29日（金）まで |
| 推薦入試・帰国子女特別入試志願者 | 平成23年10月7日（金）まで |
| 社会人特別入試志願者 | 平成23年10月7日（金）まで |
| 佐賀県推薦入学特別入試志願者 | 平成23年10月7日（金）まで |
| 私費外国人留学生入試志願者 | 平成23年12月9日（金）まで |
| 一般入試志願者 | 平成24年1月20日（金）まで |

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がいを有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

2 相談の方法

電話、郵便等にて、下記まで連絡ください。詳細については、その際に説明いたします。

相談及び連絡先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課 TEL 0952-28-8178

VIII 入学者選抜に関する細目の発表及び学生募集要項の請求方法

1 細目の発表

- (1) AO入試の学生募集要項（出願方法、試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は、7月中旬に発表します。
- (2) 社会人特別入試の学生募集要項（出願方法、試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は、9月上旬に発表します。
- (3) 推薦入試及び帰国子女特別入試の学生募集要項（出願方法、試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は、9月上旬に発表します。
- (4) 佐賀県推薦入学特別入試の学生募集要項（出願方法、試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は、9月上旬に発表します。
- (5) 私費外国人留学生入試の学生募集要項（出願方法、試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は、10月上旬に発表します。
- (6) 一般入試の学生募集要項（出願方法、試験場等入学者選抜に関する要項の細目）は、11月上旬に発表します。

2 学生募集要項の請求方法等

- (1) インターネットによる請求

ホームページ上で学生募集要項の請求が行えます。

佐賀大学入試情報ホームページのアドレスは、

<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

- (2) 郵送による請求

選抜種別ごとに封筒の表面に学部名と「一般入試学生募集要項請求」、「推薦入試学生募集要項請求」、「帰国子女特別入試学生募集要項請求」、「社会人特別入試学生募集要項請求」、「佐賀県推薦入学特別入試学生募集要項請求」、「AO入試学生募集要項請求」又は「私費外国人留学生入試学生募集要項請求」と朱書し、返信用封筒（角形2号封筒に郵送先を明記し、340円切手を貼り付けたもの。）を同封の上、次へ請求してください。

請求のあった募集要項と大学案内を送付します。

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

(3) 宅配便による配達を希望する請求（料金受取人払い）

- ① 「ファックス」により、請求する学生募集要項の種類、受取人の郵便番号、住所、氏名、電話番号等を様式1に記入し次へ申し込みください。請求のあった学生募集要項と大学案内を送付します。申込書受付後の取消しはできませんので、注意してください。

(注意) ファックス送信が、確実にできることを確認するために、申込者はファックス本体の送信結果のリスト等を必ず見てください。

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課
Fax 0952-28-8170

- ② 配達は、申込者の住所によって異なりますが、申込書受付後、2～4日後となります。

(注意) ファックスの受付は、平日の9時～17時の間に行います。

- ③ 受取りの際は、中身を確認後、料金を宅配業者に直接支払ってください。

(4) 大学窓口での配布

平日の9時から17時まで、佐賀大学学務部入試課で配布します。

(5) その他の請求方法等（社会人特別入試を除きます。）

〔方法1〕

1) 郵便局で請求する場合（10月より案内開始）

郵便局（普通局、特定局）に設置されている「国公私立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申込んでください。受付から1週間程度で送付されます。なお、請求申込書は高等学校で入手できる場合もあります。

2) テレメールで請求する場合

- ① 下記のいずれかの方法でアクセスしてください。

| | | |
|---------------------------|--|---|
| インターネットの場合 (パソコン・携帯電話) | http://telemail.jp パソコン、携帯電話(iモード・Ezweb・Yahoo!ケータイ)とも アドレスは共通 | 携帯電話でQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。  |
| 自動音声応答電話の場合 | IP電話 050-8601-0101 ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円です。 | |

- ② 希望する資料の資料請求番号 〈6桁〉をプッシュまたは入力してください。

| 資料名 | 資料請求番号 | 送料 |
|---------------------|--------|-----------|
| 大学案内 | 567482 | 210円 |
| 入学者選抜要項 | 587482 | 180円 |
| 入学者選抜要項・大学案内 | 567452 | 290円 |
| 一般入試学生募集要項 | 587452 | 290円 (予定) |
| 一般入試学生募集要項・大学案内 | 547552 | 340円 (予定) |
| 推薦入試・帰国子女特別入試学生募集要項 | 587462 | 290円 (予定) |
| 佐賀県推薦入学特別入試学生募集要項 | 587492 | 290円 (予定) |
| AO入試学生募集要項 | 547562 | 180円 (予定) |
| 私費外国人留学生入試学生募集要項 | 587472 | 180円 (予定) |

- ③ あとはガイダンスに従って登録してください。

※ 1), 2) の請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター
TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

〔方法2〕

インターネットで請求する場合

パソコン・携帯電話からのアドレス <http://manabi.benesse.ne.jp> に申し込みください。

※ 請求方法についてのお問い合わせ先

進研アド・物流センター入学願書デリバリー事業部
TEL 0740-36-1025 (月~金 9:00~17:00)

〔方法3〕

大学情報センター「モバっちょ」で請求する場合

- ① 下記のいずれかの方法でアクセスしてください。

| | | |
|---------|--|---|
| 携帯電話の場合 | 資料請求料金を携帯電話の通話料金と一緒に支払ください。 (郵便局等に払い込みに行く必要がありません。) ※携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によりご利用できない場合があります。 | 携帯電話 QR コードを読み取り、アクセスしてください。  |
| パソコンの場合 | http://djc-mb.jp/saga-u/ (クレジットカード決済のみとなりますが、携帯電話の場合と同じ料金で請求できます。) | |

② 資料の種類と送料について

| 資料名 | 送料（手数料込） |
|-----------------|----------|
| 大学案内 | 250円 |
| 一般入試学生募集要項 | 250円 |
| 一般入試学生募集要項・大学案内 | 300円 |

③ 請求方法についてのお問い合わせ先

大学情報センター株式会社 モバッちょカスタマーセンター

TEL 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

(6) 佐賀県推薦入学特別入試の学生募集要項は、佐賀県健康福祉本部医務課地域医療体制整備室においても配布します。

※ お問い合わせ先

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59

佐賀県健康福祉本部医務課地域医療体制整備室

TEL 0952-25-7033

URL:<http://www.pref.saga.lg.jp>

IX 平成25年度以降の入学者選抜方法の変更〔予告〕

平成25年度以降の医学部入学者選抜方法の変更について〔予告〕

〈一般入試（前期日程）〉

| 年 度 | 学 科 | 個別学力検査等 | |
|--------|-------|---------|-------------------|
| 平成24年度 | 医 学 科 | 教科等 | 科目名等 |
| | | その他 | <u>総合問題</u> 面接 |



| 年 度 | 学 科 | 個別学力検査等 | |
|----------|-------|---------|-----------------------------------|
| 平成25年度以降 | 医 学 科 | 教科等 | 科目名等 |
| | | 外国語 | <u>英 I・英 II・リーディング・ライティング</u> |
| | | 数学 | <u>数 I・数 II・数 III・数 A・数 B・数 C</u> |
| | | 理科 | <u>物 I・物 II, 化 I・化 II</u> |
| | | その他 | 面接 |

（注）大学入試センター試験の利用教科・科目については、変更ありません。

〈推薦入試〉

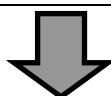
| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 | |
|--------|-------|-------------------|--|
| 平成24年度 | 医 学 科 | <u>総合問題</u> 面接 | |
| | | <u>総合問題</u> 面接 | |



| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 | |
|----------|-------|-----------------------------|-------------|
| 平成25年度以降 | 医 学 科 | <u>大学入試センター試験</u> | |
| | | <u>国 国【必須】</u> | |
| | | <u>地歴・世 B, 日 B, 地理 B,</u> | <u>から 1</u> |
| | | <u>公民 現社, 倫, 政経</u> | |
| | | <u>数 数 I・数 A【必須】</u> | |
| | | <u>数 II・数 B, 工, 築・会, 情報</u> | <u>から 1</u> |
| | | <u>理 物 I【必須】</u> | |
| | | <u>化 I【必須】</u> | |
| | | <u>外 英【必須】</u> | |
| | | <u>〔5教科7科目〕</u> | |
| | | <u>小論文</u> | |
| | | 面接 | |
| | 看護学科 | <u>小論文</u> | |
| | 看護学科 | 面接 | |

〈帰国子女特別入試〉

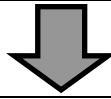
| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 | |
|--------|-------|-------------------|--|
| 平成24年度 | 医 学 科 | <u>総合問題</u> 面接 | |
| | | | |



| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 | |
|----------|-------|--------------------------------------|--|
| 平成25年度以降 | 医 学 科 | <u>学力検査</u> | |
| | | <u>外国語 英 I・英 II・リーディング・ライティング</u> | |
| | | <u>数学 数 I・数 II・数 III・数 A・数 B・数 C</u> | |
| | | <u>理科 物 I・物 II, 化 I・化 II</u> | |
| | | 面接 | |

〈社会人特別入試〉

| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 |
|--------|------|-------------------|
| 平成24年度 | 看護学科 | <u>総合問題</u> 面接 |



| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 |
|----------|------|------------------|
| 平成25年度以降 | 看護学科 | <u>小論文</u> 面接 |

〈佐賀県推薦入学特別入試〉

| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 |
|--------|-------|-------------------|
| 平成24年度 | 医 学 科 | <u>総合問題</u> 面接 |



| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 |
|----------|-------|--|
| 平成25年度以降 | 医 学 科 | <p><u>大学入試センター試験</u></p> <p>国 国【必須】</p> <p>地歴・ 世B, 日B, 地理B, } 公民 現社, 倫, 政経 } から1</p> <p>数 数I・数A【必須】</p> <p>理 数II・数B, 工, 薄・会, 情報から1</p> <p>物I【必須】</p> <p>化I【必須】</p> <p>外 英【必須】</p> <p><u>小論文</u> 面接</p> <p style="text-align: right;">[5 教科 7 科目]</p> |

〈私費外国人留学生入試〉

| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 |
|--------|-------|-------------------|
| 平成24年度 | 医 学 科 | <u>総合問題</u> 面接 |

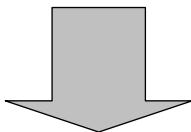


| 年 度 | 学 科 | 第 2 次選考 |
|----------|-------|--|
| 平成25年度以降 | 医 学 科 | <p><u>学力検査</u></p> <p>外国語 英I・英II・リーディング・ライティング</p> <p>数学 数I・数II・数III・数A・数B・数C</p> <p>理科 物I・物II, 化I・化II</p> <p>面接</p> |

平成25年度以降の理工学部入学者選抜方法の変更について〔予告〕

〈一般入試（後期日程）〉

| 年 度 | センター試験 | 個別学力検査 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|--------|-----|-----|-------|------|-------|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|------|------|
| 平成24年度 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>国 語</th><th>地 歴</th><th>公 民</th><th>数 学</th><th>理 科</th><th>外 国 語</th><th>合 計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td><td>*100</td><td>*100</td><td>300</td><td>250</td><td>250</td><td>1000</td></tr> </tbody> </table> <p>※配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。</p> | 国 語 | 地 歴 | 公 民 | 数 学 | 理 科 | 外 国 語 | 合 計 | 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | 1000 | 課さない |
| 国 語 | 地 歴 | 公 民 | 数 学 | 理 科 | 外 国 語 | 合 計 | | | | | | | | | | |
| 100 | *100 | *100 | 300 | 250 | 250 | 1000 | | | | | | | | | | |



| 年 度 | センター試験（注1） | 個別学力検査（注2） | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|------------|------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| | | 学科名 | 試験科目 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成25年度以降 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>国語</th><th>地歴</th><th>公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外 国 語</th><th>合 計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td><td>*50</td><td>*50</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td>600</td></tr> </tbody> </table> <p>※配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。</p> | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外 国 語 | 合 計 | 100 | *50 | *50 | 150 | 150 | 150 | 600 | 数理科学科 | 数学 |
| 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外 国 語 | 合 計 | | | | | | | | | | | |
| 100 | *50 | *50 | 150 | 150 | 150 | 600 | | | | | | | | | | | |
| 物理科学科 | 物理 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 知能情報システム学科 | 数学 物理 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機能物質化学科 | 化学 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械システム工学科 | 数学 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電気電子工学科 | 数学 物理 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 都市工学科 | 物理 | | | | | | | | | | | | | | | | |

（注1）センター試験の利用教科・科目については、平成25年度以降も変更ありません。

（注2）個別学力検査の各科目の配点は400点とします。

（注3）数学及び物理の2科目を受験した者については、高得点の科目の成績を用います。

X 経済学部の改組予定について〔お知らせ〕

佐賀大学では平成25年4月に経済学部の改組を予定しています。

現在、佐賀大学では、平成25年4月に経済学部を現行の2課程から3課程に再編成する改組計画を文部科学省に申請する予定です。

この改組による入学者選抜方法等（大学入試センター試験及び個別学力検査の受験科目等）並びに学部の入学定員についての変更はありません。

ただし、この計画はあくまで予定であり、文部科学省の審議会の結果によって確定するため、今後変更が生じることがあります。

詳細については、審議会結果通知後（平成24年6月頃）に発表する予定です。

不明な点については、佐賀大学経済学部総務係（Tel:0952-28-8413）までお問い合わせください。

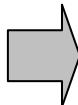
◆改組計画

【現 行】

| 経済学部 | |
|----------|-------|
| 経済システム課程 | 140 人 |
| 経営・法律課程 | 135 人 |
| 入学定員合計 | 275 人 |

【改組後（平成25年4月予定）】

| 経済学部 | |
|--------|-------|
| 現代経済課程 | 120 人 |
| 企業経営課程 | 80 人 |
| 経済法律課程 | 75 人 |
| 入学定員合計 | 275 人 |



*現代経済課程は経済学系、企業経営課程は経営学系、経済法律課程は経済法学系です。

様式1 (ファックス)

送信先 佐賀市本庄町1番地
佐賀大学学務部入試課 御中
Fax 0952-28-8170

佐賀大学「学生募集要項」申込書 (ファックス)

下記の要項を請求します。料金は受取りの際に支払います。

| | |
|------------------|---|
| 請求する要項 (○で囲む) | 1. 一般入試(個別試験) 2. 推薦 3. 帰国子女 4. 社会人 5. 佐賀県推薦入学 6. A O 7. 私費外国人留学生 |
| 出願予定学部 | <input type="checkbox"/> 文化教育学部 <input type="checkbox"/> 経済学部 <input type="checkbox"/> 医学部 <input type="checkbox"/> 理工学部 <input type="checkbox"/> 農学部 (□欄に✓を記入してください。) |
| 部 数 | 部 |
| 配 電話番号 | 市外局番 () - |
| 達 住 所 | 〒 |
| 先 氏 名 | |
| 配達時間の指定の有無 | 有 <input type="checkbox"/> 午前 12時 14時 16時 18時 20時 <input type="checkbox"/> 中 14時 16時 18時 20時 21時 <input type="checkbox"/> 無 |

(注) 配達時間の指定については、希望する時間帯に○印を付してください。

本学の情報を携帯電話で見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用ください。



携帯用 URL:<http://daigakujc.jp/saga-u/>